

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

第5期（2020年度）事業報告書

～ 安全・安心で魅力ある福祉を目指して ～

目次

はじめに	1
総会及び理事会等の開催	3
研修の実施	4
被災地への支援	28
福祉防災認定コーチ、上級コーチ認定者	31
展示会等への出展やマスコミ等による紹介	32
フェイスブックによる情報発信（災害関係のみ）	35
その他の活動	38
2020年度の成果（実績）とインパクト	42
2020年度の成果を受けた新たな課題	55
2021年度 of 取組み内容	57
法人情報	59

はじめに

会長挨拶

今年も引き続き新型コロナウイルス感染症が流行し、ワクチンの普及で明るい兆しが見えてはきたものの、今なお医療職と同様に、福祉職員もまた、福祉の最前線で緊張の日々を送られています。改めて、心からの感謝を申し上げます。

私たちは、福祉施設においては「消防計画」に加え、「避難確保計画」、「事業継続計画（BCP）」、「福祉避難所計画」が必要であることをアピールしてきました。これに感染症対策も強化しなければなりません。すべての福祉施設が、大災害にも感染症にも、そして複合災害にも対応できる「福祉防災計画」を作成し、福祉関係職員の災害対応能力向上と平時からの魅力増進を支援することが、本協会のミッションです。

昨年末、厚生労働省が福祉施設に3年以内のBCP作成を義務付けました。私たちの活動がその後押しになったとすれば、望外の喜びです。

2020年度は、（一財）消防防災科学センター様からの委託事業により、神奈川県、和歌山県、三重県、岡山県、島根県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施しました。本年度も7県で福祉避難所マニュアル作成研修が決まりました。また、自治体、社会福祉協議会、学校、地域団体やボランティア団体等から福祉施設BCP作成をはじめとする多様な研修依頼が多くなっています。毎年、連続して研修依頼されることも増えており、ご期待に身が引き締まる思いです。

今年は、停電対策の給電器、水不要で清潔に処理できるバリアフリースイッチを組み合わせた「みんな元気になる福祉避難所」事業が秋田県男鹿市で決まり、他にも進行中の案件があります。全国でこの事業が普及し、災害時に福祉施設や特別支援学校が助け合える仕組みづくりを進めてまいります。

障がい者や高齢者と地域とのつながりが弱くなり、社会インフラに依存する都市型社会にあっては、「一緒に助かる」ための危機管理が極めて重要です。

コロナ禍で厳しい時が続きますが、明けない夜はありません。今後とも本協会に対し、関係者各位のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2021年6月吉日

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 会長 浅野 史郎

活動の目的

全国の福祉施設や職員の災害対応能力向上と魅力増進を支援するために、防災・事業継続計画（BCP）研修等の事業を行うとともに、平時からの福祉防災コミュニティづくりと災害時の福祉支援を行うこと。

会長、顧問、理事、監事名簿

会長	浅野 史郎	株式会社土屋特別研究員・元宮城県知事
顧問	岸田 宏司	和洋女子大学学長
顧問	高橋 紘	東京都福祉施設士会会長
顧問	立木 茂雄	同志社大学社会学部教授
顧問	中林 一樹	首都大学東京・東京都立大学名誉教授
顧問	林 春男	防災科学技術研究所理事長
顧問	原口 兼正	元セコム株式会社社長
顧問	室崎 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長
顧問	目黒 公郎	東京大学大学院生産技術研究所教授
顧問	安江 哲	オフィス安江代表
代表理事	鍵屋 一	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
副理事長	高橋 洋	株式会社防災都市計画研究所シニアコンサルタント
副理事長	田中 正博	全国手をつなぐ育成会連合会事務局統括
副理事長	田村 圭子	新潟大学危機管理本部危機管理室教授
副理事長	丸谷 浩明	東北大学災害科学国際研究所副所長・教授
副理事長	横内 康行	東京都セルフセンター事務局長
理事	石川 淳哉	一般社団法人助けあいジャパン共同代表理事
理事	石塚 由江	防災士・防災アドバイザー
理事・会計	梅山 吾郎	S O M P O リスクマネジメント株式会社 B C M コンサルティング部
理事	岡橋 生幸	株式会社クオリティサポート代表取締役社長
理事	国崎 信江	株式会社危機管理教育研究所代表
理事	寿乃田 正人	東急株式会社 沿線生活創造事業部
理事	竹本 加良子	株式会社サイエンスクラフト代表取締役社長
理事	岸川 英樹	日本ミクニヤ株式会社執行役員東京支店長
理事	吉川 忠寛	株式会社防災都市計画研究所代表取締役所長
監事	浅野 幸子	減災と男女共同参画研修推進センター共同代表
監事	岡野谷 純	特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ代表理事
監事	中川 和之	株式会社時事通信社解説委員
事務局	上園 智美	日本ミクニヤ株式会社東京支店防災部

総会及び理事会等の開催

総会、理事会及び理事会WGを開催し、協会の取り組み内容の検討等を実施した。

開催日	内容	場所
2020年5月30日	理事WG	貸会議室（品川）
2020年6月18日	理事WG	zoom
2020年6月30日～7月10日	定例総会	書面審議
2020年8月11日～18日	理事会	書面審議
2020年8月26日	理事WG	zoom
2020年9月16日～29日	令和2年度第1回臨時総会	書面審議
2021年2月3日	理事WG	ちよだプラットフォームスクウェア



2020年度の定例総会については、6月20日に千代田区社会福祉協議会研修室で開催するよう準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症により全国に緊急事態宣言が発出され（開催予定日には解除されていたが）、多くの福祉施設等においてその影響を受けていることを鑑み、2020年6月30日～7月10日の期間、書面審議で進めることとなった。また、同日開催を予定していた公開シンポジウムは、集会による感染拡大を防止するため、中止とした。

9月16日～29日に行った第1回臨時総会は、新型コロナウイルス感染防止のため書面審議により開催し、柄谷友香理事の辞任が承認された。

8月11日～18日の理事会では、令和2年7月豪雨災害による被災地 熊本での活動・日本財団の補助申請の必要性から、熊本支部（支部長 湯井恵美子氏：熊本市出身、福祉防災上級コーチ）を立ち上げた。また、顧問として安江哲氏（関東学院大学非常勤講師、北見工業大学非常講師、佐藤鉄工株式会社 顧問、NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク 顧問、株式会社北未来技研顧問）の着任が承認され、北海道での事業展開をするうえで強力な役割が期待されている。

研修の実施

主な研修の実施内容を以下に示す。

(1) 一般財団法人 消防防災科学センターからの受託研修

開催場所である5県の担当者から、市町村で災害時に重要な役割をする福祉関係者（福祉関係部局、社会福祉協議会、福祉施設の職員など）を対象に研修参加者の募集を行い、「福祉避難所の設置・運営に関する実務研修」を実施した。

研修の開催日・会場は、実施団体との調整により下表のように決定した。なお、今回実施した5県での参加人数は、180名であった。

新型コロナウイルス対策のため、各県担当者と打合せの上、参加者の健康状況の確認、手指消毒、マスクやフェイスシールドの着用、換気の実施を行った。また神奈川県研修は、県からの希望がありオンライン研修とした。

開催日	場所	会場	講師	参加者数
2020/10/28	神奈川県	オンライン（ZOOM）	高橋・横内・石塚	42
2020/10/6	三重県	三重県吉田山会館 206会議室	横内・湯井・前川	20
2020/10/21	和歌山県	和歌山県庁南館 防災会議室	湯井・上園・前川	62
2020/11/17	島根県	島根県県民会館 第1、第2多目的ホール	鍵屋・上園・湯井	27
2020/11/6	岡山県	きらめきプラザ 中会議室	上園・湯井・中井	29
合計				180

午前前半の講義では、過去の大災害と教訓、福祉避難所設置・運営の現状と課題、法制度の解説を実施した。後半の演習では、災害エスノグラフィを使ったグループワークを行った。

午後前半の講義では、福祉避難所マニュアルの作成方法をひな型で説明し、福祉避難所スタートボックスの趣旨・内容等の解説を実施した。後半の演習では、福祉避難所スタートボックスを活用した実動訓練を行った。

研修終了後には、各県の担当者を通してマニュアルひな型をメールしていただき、マニュアル作成への声掛けを実施していただいた。

研修の全体スケジュールは、次の通りである。

時間	タイトル	内 容
9 : 00～ 9 : 30	受付 事務連絡等	受付 事務連絡・事前アンケート記入
9 : 30～ 10 : 15	大災害及び福祉 避難所の状況	【講義】 （１）過去の大災害と教訓 （２）福祉避難所設置・運営の現状と課題、 法制度の解説
10 : 15～ 10 : 40	災害と福祉関係 者のイメージづくり	【演習】 （３）被災者の災害エスノグラフィを読み、課題や 教訓を抽出しつつイメージづくりを行う
	休憩	
10 : 55～ 12 : 20	グループワーク	【演習】 （４）参加者を４人ずつにしてグループワーク（ワ ールドカフェ）で災害及び福祉避難所イメージの強化と アイデア出し （５）グループワークの成果紹介
	休憩	
13 : 30～ 14 : 20	マニュアル作成方 法説明	【講義】 （６）福祉避難所マニュアルの作成方法をひな型で 説明 ※ マニュアルひな型を電子データで交付
14 : 20～ 15 : 00	福祉避難所スター トボックスの説明	【講義】 （７）福祉避難所スタートボックスの趣旨、内容等 を解説
	休憩	
15 : 15～ 16 : 30	福祉避難所スター トボックスを活用し た訓練	【演習】 （８）福祉避難所スタートボックスを活用して実動 訓練 （９）訓練の振り返り、課題出しと解決手法の進め 方を説明
16 : 30～ 16 : 45	質疑応答	【講義】 （１０）質疑を受け、講師が応答 （１１）まとめ、アンケート記入

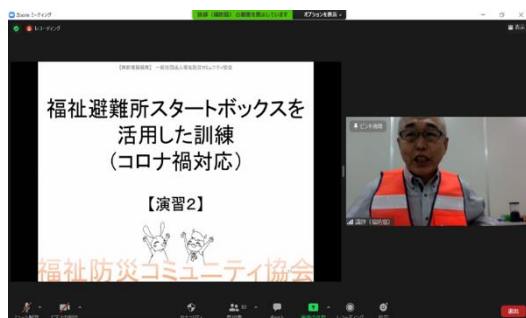
次ページから、各県で実施した研修状況をまとめた。

① 神奈川県

神奈川県くらし安全防災局災害対策課と調整を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策のため集会での開催ではなく、Zoomによるウェブ研修とした。このため、参加者には事前に「資料：WEB研修受講にあたってご確認いただきたいこと」を作成・配布し、受講環境や準備いただきたいものについて確認を行った。

参加者は全て行政職員であったため、行政職員側に知っておいてもらいたいことや行政側に必要な視点を強調して説明を行った。

ウェブ研修について事前をお願いしていたが、各自治体のネット環境により、PC 1 台で複数名が参加されたり、マイクやカメラが利用できなかったり、十分な受講環境が確保できない方も複数あった。また、研修中に入出りがあったり、呼びかけても返答がなかったり（その場に居ない）することもあり、通常業務環境からの研修参加では、研修に集中しにくい状況も確認された。



神奈川県 ウェブ研修の様子

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

消防防災科学センター主催

2020 年度 福祉避難所の設置・運営に関する実務研修

【WEB 研修受講にあたってご確認いただきたいこと】

今回の WEB 研修へのお申し込みは、下記の確認および同意を前提とします。

(受講にあたって)

- 受講者は、申込者本人に限定します。参加するための URL を他者と共有、公開しないでください。
- 受講は 1 人 1 台のマイク付き機器(カメラ付き機器がベター)で参加ください。
※1 台で数名が参加の場合グループワークは代表者 1 人が参加して下さい。
- 受講には、受講者の責任において、参加に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線その他設備を保持し、設定および管理するものとします。
- 研修の録画、録音、スクリーンショット等は禁止します。
- 安定したインターネット環境下で受講ください。
- 配信画面右上に「レコーディングしています」と表示される場合がありますが、配信内容及び Q&A、チャット等の記録を実施しており、受講者側環境の記録は行っていません。
- 県から送付された資料データの転送や複製は禁止しております。

(個人情報の保護)

- 講師および運営者((一社)福祉防災コミュニティ協会)は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法令その他の規範を遵守し、本研修を通じて得た個人情報の保護に努めます。

(免責事項)

- 研修は、Zoom を利用してインターネットで配信するため、ご利用されるデバイス、インターネットの通信状況等により、参加できない場合があります。その場合、運営者((一社)福祉防災コミュニティ協会)は責任を負いません。
- 講師および運営者((一社)福祉防災コミュニティ協会)は、参加者間ならびに参加者・第三者間のトラブルについて責任を負いません。

(研修の内容に関して)

- 本研修の動画や音声等すべての知的所有権は講演者及びその所属先、運営者((一社)福祉防災コミュニティ協会)に帰属します。
- 私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者などの許諾を得ずに複製、公衆送信などの行為を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。

(その他)

- 研修を行う Web サービス(Zoom サービス等)の規約に違反する行為は禁止とします。

(準備頂きたいもの)

- 参加者の皆さまは、資料を各自印刷し、お手元に準備ください。
- A4 白紙をグループワーク等で使用しますので、各自 2~3 枚ご準備ください。

資料：WEB 研修受講にあたってご確認いただきたいこと

② 三重県

三重県では、子ども・福祉部 子ども・福祉総務課と調整を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策として、研修聴講はスクール形式で行い、グループワーク時のみレイアウトを変更し、参加者の間に衝立を使用した。衝立の足が机の中心にあったため、模造紙を大きく広げることはできなかったが、大きな混乱等はなくグループワークを実施することができた。

8割の参加者が行政職員であり、発災後の要支援者対応の優先順位や、介護保険制度の使い方についての質問があった。



三重県研修の様子

③ 和歌山県

和歌山県では、福祉保健部 福祉保健政策局 障害福祉課と調整を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策として室内の換気と休憩時間の手指消毒呼びかけを行った。またワールドカフェでの投票時間では、参加者が密になることを避けるため、ハーベストをテーブルにバラバラに配置し、テーブルに人が集まらないように工夫した。

去年実施した研修に参加した人もいらしたが、問題なく参加されていた。

地域性を考えたグループ分けをされており、グループ人数にばらつきはあったが、地域内での顔見せにもなり有効であったと考える。また、各グループに社会福祉協議会からの参加者がいらしたため、グループワークはスムーズに進んでいた。

聴覚障がい者の参加があったため、県から手話通訳が準備されていた。ワーク時も付いていただけたため、特に問題はなかった。



和歌山県研修の様子

④ 島根県

島根県では、防災部 防災危機管理課と調整を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策として場内のグループの間隔を広めにとると共に、1 グループの机を多く配置し参加者の間隔を広くできるようにした。また県からの要望で、研修中は県支給のフェイスシールドを装着することとした。ただし、フェイスシールドの圧迫感からか、気分を悪くされた受講者がいたり、長時間の装着で額がかぶれたりされた受講者がいたとのことであり、フェイスシールドを併用する場合はより細やかな気配りが必要である。

参加者のほとんどは行政職員であった。ワークショップでは積極的な発言が多く、活発な意見だしが行われていた。



島根県研修の様子

⑤ 岡山県

岡山県では、危機管理課と調整を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策として場内のグループの間隔を広めにとり、室内の換気と休憩時間の手指消毒呼びかけを行った。

参加者の半数以上は福祉避難施設職員、残り半数が市町職員と社協職員であり、バランスの良い構成であった。活発な意見交換がなされ、グループワークでは行政職員のみ参加の研修では出にくい内容のハーベストが多く見られ、行政と福祉施設職員との連携が図られたようである。

県からマスコミへの広報が行われており、読売新聞大阪本社とRMC西日本放送による取材が行われた。RMCでは、当日夕方のニュースにて研修の様子が放映された。

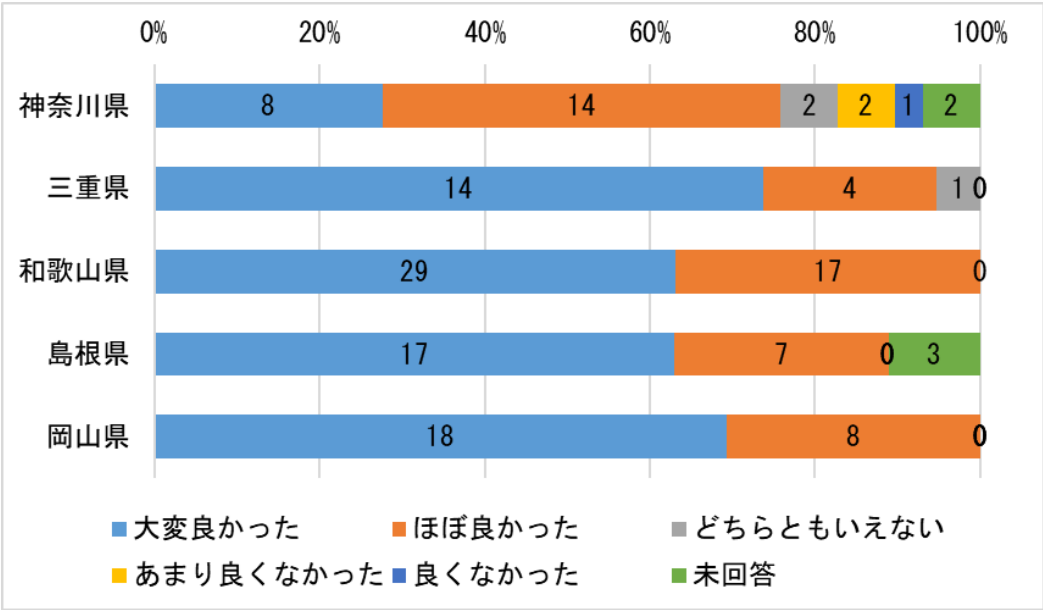


岡山県研修の様子

5 県でのアンケート結果を、以下に示す。

消防防災科学センター作成のアンケート内容のうち、「3. （3）研修を受講して良かったですか」

	大変良かつ た	ほぼ良か った	どちらともいえない	あまり良くなかつ た	良くなかつ た	未回答
神奈川県	8	14	2	2	1	2
三重県	14	4	1	0	0	0
和歌山県	29	17	0	0	0	0
島根県	17	7	0	0	0	3
岡山県	18	8	0	0	0	0



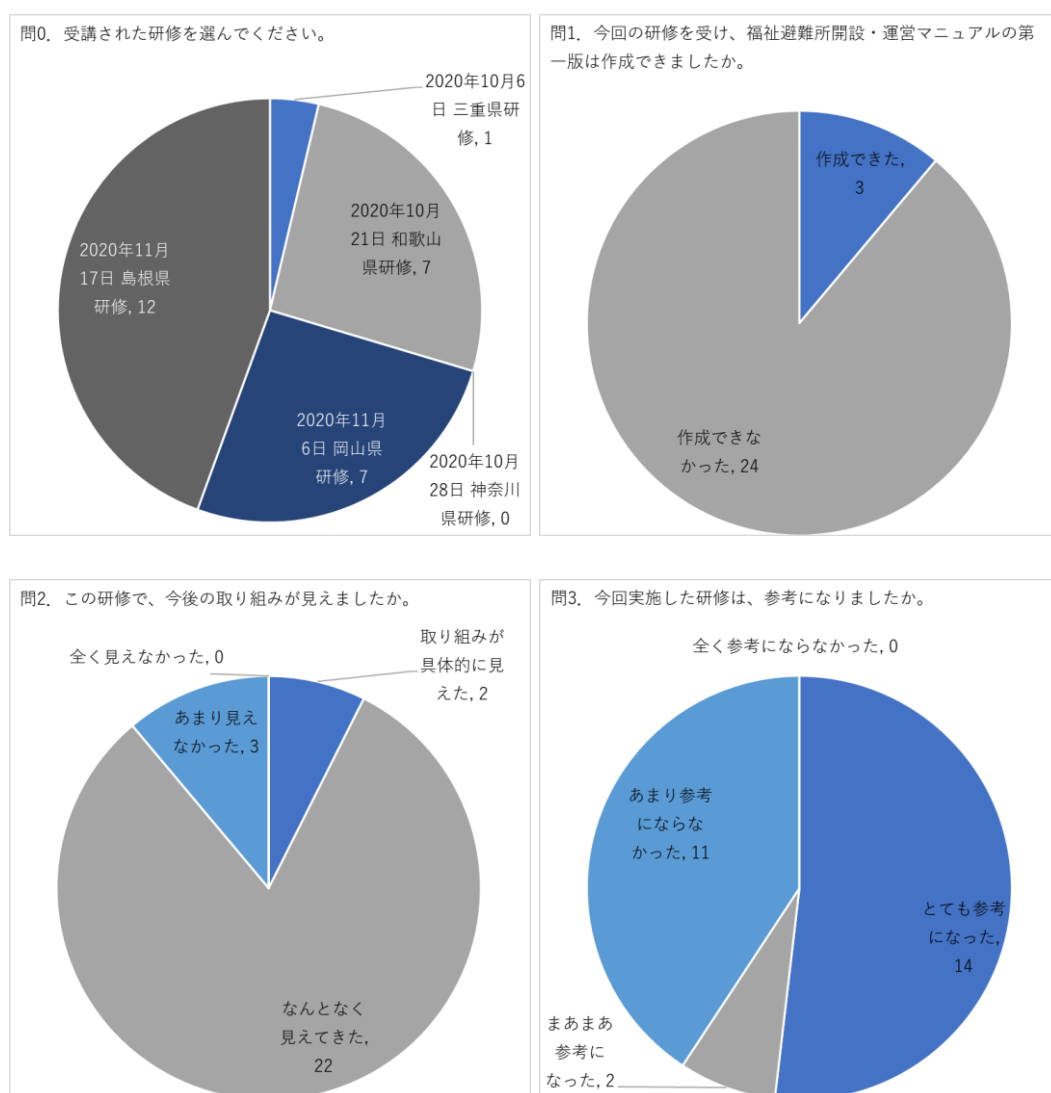
集合研修で実施した 4 県では、回答のあった125人中124人（99%）が「大変良かった」「ほぼ良かった」であり、本研修における参加者の満足度は極めて高いことがわかる。

なお、ウェブ研修で実施した神奈川県では「大変良かった」が約30%、「ほぼ良かった」が約50%であり、集合研修に比べて満足度が下がっている。市町の回線の問題など技術的な課題もあったが、今後は、ウェブ研修を行う場合の改善が必要と考えられる。

今年度の研修は1日開催であり、また新型コロナによる影響も考えられるため、研修後どの程度マニュアルが策定されたか等を把握するための「終了後アンケート」を実施した。開催県ご担当者の協力のもと、1月17日から2月15日まで終了後アンケートを行い、27名から返信をいただいた（参加者総数180名）。全体の回収率は15%であったが、特に満足度が低かった神奈川県からのアンケート返信はなかった。各県の回収率は、三重県5%、和歌山県11%、島根県44%、岡山県24%であった。

問0のとおり、返信について県ごとの偏りが多かったこと・返信数が少なかったことから、分析は全データをまとめて実施した。

問1において、回答の約9割が「マニュアルが作成できなかった」と答えた。この理由の多くは、「関係者との話し合いが進んでいない」「作成作業中」とのことである。また「新型コロナなど優先業務があり、手が回らなかった」という意見も複数上げられており、マニュアル作成における新型コロナの影響も確認された。



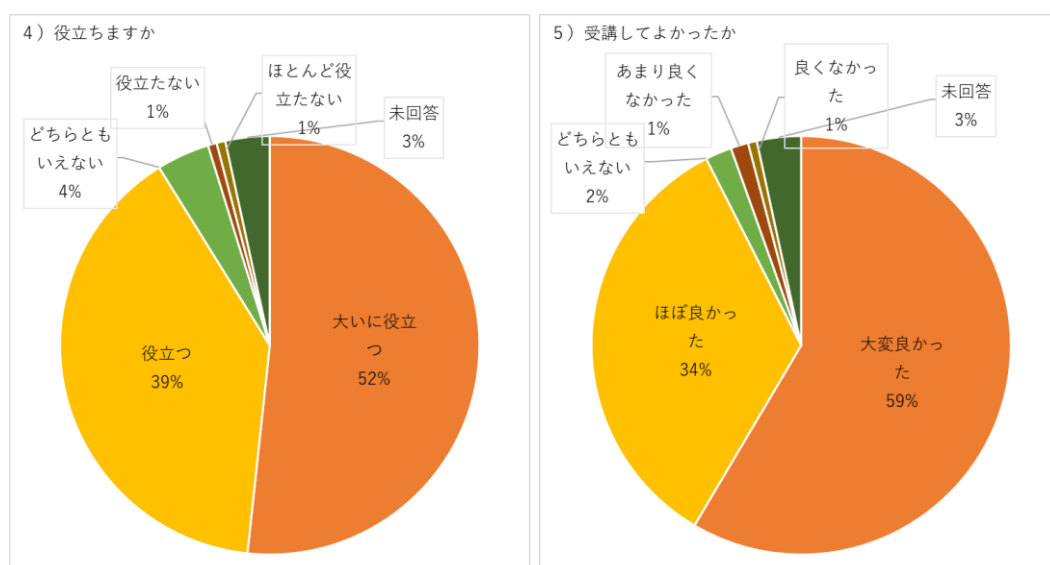
問2において、約8割が「なんとなく見えてきた」と答えている。

【今後の取り組みが、あまり見えなかった】

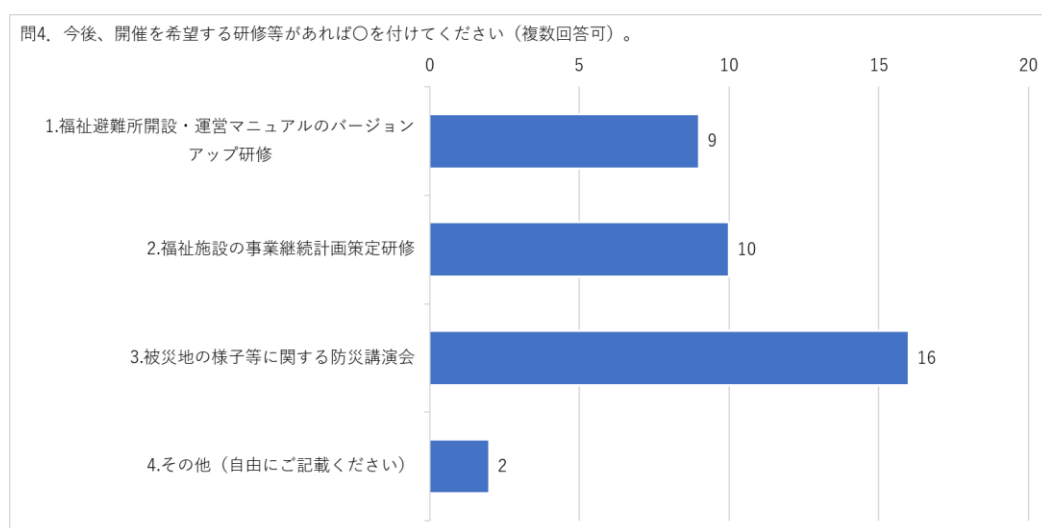
- 福祉避難所として受け入れる側のメリットが少なく、マニュアル作成の理解を得るのが難しい。

- ・ 途中で退席したため。
- ・ 組織として災害時に備えるという意識を持つ必要があるが、自分の立場で何を行っていけばいいのかよくわからない。

問 3 において、約6割が「とても参考になった」「まあまあ参考になった」と答えている。ただし、研修直後に行った消防防災科学センターアンケートでは、「3. 研修の開催時期、内容等 (3) 講義・体験時間、配布資料、講師の説明等について 4) 役立ちますか」においては9割を超える参加者が「大いに役立つ」「役立つ」、また「同 5) 受講してよかったか」においても9割を超える参加者が「大変良かった」「ほぼ良かった」と答えており、時間経過による満足度の低下が明らかになった。



(参考) 消防防災科学センターアンケート結果



問 4 において、今後希望する研修としては、昨年度に続き「被災地の様子等に関する防災講演会」の開催が多く、今後の研修への組み込み等の検討も行いたい。

(2) 静岡県福祉避難所マニュアル研修会

静岡県からの委託で、県内3地区で福祉避難所開設マニュアル研修を実施した。延べ参加人数は、137人であった。

今回は、関東圏からアクセスしやすい研修であることから、認定コーチになって日が浅い、もしくは認定コーチにチャレンジしたい3名の方にOJTとして参加いただき、研修の流れや運営方法についてトレーニングしていただいた。

開催地区	回	日時	場所	人数	講師
静岡地区	1回目	2020/6/24 (水) 13:00-16:30	静岡県産業経済会館 〒420-0853 静岡市葵区追手町4-4-1	20	鍵屋上級コーチ 石塚認定コーチ 木村
	2回目	2020/8/7 (金) 13:30-16:30	あざれあ 〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1	17	高橋上級コーチ 湯井上級コーチ 木村
浜松地区	1回目	2020/7/1 (水) 13:00-16:30	アクトシティ浜松 〒430-7790 浜松市中区板屋町1-1-1	17	鍵屋上級コーチ 横内上級コーチ 奥村認定コーチ
	2回目	2020/8/19 (水) 13:30-16:30	アクトシティ浜松 〒430-7790 浜松市中区板屋町1-1-2	13	高橋上級コーチ 横内上級コーチ 奥村認定コーチ
沼津地区	1回目	2020/7/10 (金) 13:00-16:30	プラサヴェルデ 〒410-0801 沼津市大手町1丁目1-4	36	鍵屋上級コーチ 高橋上級コーチ 松原認定コーチ
	2回目	2020/8/18 (火) 13:30-16:30	プラサヴェルデ 〒410-0801 沼津市大手町1丁目1-5	34	高橋上級コーチ 中井認定コーチ 松原認定コーチ
合計				137	OJTメンバー

① 静岡地区 1 回目研修（講師によるコメント）

- 研修会参加者は皆、講師の話に傾聴し、真剣な面持ちで臨んでいた。
- ワークショップの場面で、「自分は今まで福祉避難所の開設についての思い違いをしていたことが今日はじめてわかった。帰ったら市のみんなに伝える」という若い職員の言葉を耳にし、協会が行う研修の役割の大きさを感じた。
- ワークショップの最後のハーベストづくりでは、湧き出てきたアイデアに対して「なぜそれが必要となるのか？」「具体的に言うとうどういうことなのか？」というところを絞り出すのにやや苦戦していたように見えた。
- 研修終了後、参加者の一人が恐縮されながら「講師のお名前が県からの書類に掲載されてなく、どこのどなたかもわからないので講師には大変失礼なのですが教えてください」と言ってくれた。ここは、次回に向けて改善しなくてはと感じた。



静岡地区 1 回目研修の様子

② 静岡地区 2 回目研修（講師によるコメント）

- 前回の講義を受けて、福祉避難所運営マニュアル素案を作成した方は 2 人だった。
- ワークショップでは、令和2年7月豪雨・熊本県南の状況の情報提供があり、参加者はメモを取るなど興味深く聞いていた様子が印象深かった。
- マニュアルを育てる計画では、作成したマニュアルを交換し、意見交換の際は和やかな雰囲気で、参加自治体の職員同士の交流も深まっている様子だった。
- 最後の質疑応答では、「福祉施設からは、施設入居者を守る事で精一杯、外部の方の受け入れは現状厳しいと言われたとき、どのように協力・理解してもらうか？」など、現場の自治体職員として具体的な苦勞や悩みを話していた。（2人）



静岡地区 2 回目研修の様子

③ 浜松地区 1 回目研修（講師によるコメント）

- 今日の参加者のほとんどが危機管理課や福祉課などの職員中にはコロナの避難所対策に携わっている方もいらした。
- ワールドカフェでは、事前に対策しておく大切さを認識する一方、福祉施設で対策にかけられるお金があまりないという課題も出ていた。
- また、地域との連携の重要性とともに、最近、県内外の同じグループの福祉施設が連携している、地域との繋がりを大切にしていると聞くようになった、という現場の声もあった。
- 休憩中、福祉避難所開設ボックスの展示コーナーに参加者が集まり、埼玉福祉会の村田課長よりプレゼンを行った。
- また鍵屋先生の後半の講義でも展示コーナーでの物品の確認があったので、よりイメージが付きやすかったのではと感じた。



浜松地区 1 回目研修の様子

④ 浜松地区 2 回目研修（講師によるコメント）

- マニュアルを作ってきた参加者は半分であり、指定した福祉避難所へ備蓄品を渡している自治体はなかった。一次避難場所だけに備蓄品を設置するのではなく、今後は主となる福祉避難所にも備蓄が必要である。
- 質問：指定できる福祉施設がないので、避難所の一室や空き家等を活用し福祉避難所にしても良いのか。→災害救助法による避難所・福祉避難所は、事実上そうなったものを事後指定することも可能、と説明した。
- 質問：福祉避難所の開設に向けた準備ができていないが、他の自治体で災害時に福祉避難所を開設できた例はあるのか。→昨年台風15号で大規模な停電があった千葉県南房総市において、準備していた25福祉避難所は停電で開設ができなかったが、電源が確保できる施設（保健センター）を福祉避難所として特設することができた。（高橋上級コーチから補足：同様の例は、君津市でも特別避難所として開設された）
- 東京都発行の「東京マイ・タイムライン」の作成ガイドブック(一般向け、小学校低学年向け)を持参し、休憩時間中に閲覧してもらった。多くの人が興味深くガイドブックを見ていた。
- 行政職員が主であったため市民の命を守る意識が高く、参加者同士で積極的に意見交換が行われた。



浜松地区 2 回目研修の様子

⑤ 沼津地区 1 回目研修（講師によるコメント）

- ・ 講義中は、参加者の皆さん、熱心に講義を聞いており、所々講師のお話を手元の資料にメモをしている姿も見受けられた。
- ・ ワールドカフェでは各班議論が進み、課題を整理するとともに、各班の課題を比較・評価することで、充足感を得ているようだった。
- ・ 研修の最後に参加者に意見を聞いた際には、「福祉課主催で今年訓練を予定しており、今回研修で得た内容を共有することで、今後連携をとれるようになっていきたい。」という意見があり、参加者の意識の高さをうかがうことができた。



沼津地区 1 回目研修の様子

⑥ 沼津地区 2 回目研修（講師によるコメント）

- ・ 避難所マニュアルは参加者の3分の2ほどが持参(素案及び既存マニュアル含む)。
- ・ 中部地区のマニュアル低持参率を踏まえ高橋上級コーチがスライドの順番を急きょ変更。参加者が資料を一生懸命探すことに集中してしまいコーチの話を聞き逃した感があったのは残念だった。
- ・ WSは意見交換が活発に行われ、タイトル付けまでスムーズに進行できたためハーベスト作成&投票まで実施することが出来た。「便袋の準備」をハーベストにしたグループは高橋上級コーチ賞獲得！「コロナ対応も防災教育する」は中井賞。
- ・ レベルアップ等の座学は参加者受講姿勢の真剣さが目立った。
- ・ 質疑応答は初め手が上がらなかったものの、マイクを向けると作成した人ならではの質問が複数出た。
- ・ 自らの目標に「今日の研修を課内で共有したい」と書かれるなど研修を有意義と感じて下さった方が多くおられ良かった。



沼津地区 2 回目研修の様子

静岡県内 3 地区でのアンケート結果を、まとめて以下に示す。

問1. 今回の研修を受け、福祉避難所開設・運営マニュアルの第一版は作成できましたか。

【作成できなかった理由（未回答含む）】

（コロナによる影響）

- コロナの関係で断られてしまった。
- 介護施設に話をした結果、コロナ禍の中では、外から受入れは難しいと言われ、部内で協議を続けている最中のため。

（施設との関係づくり）

- 協定施設の情報開示をしていないため、施設側との協力体制があいまいな現状です。まずは、行政と施設の関係づくりから見直しが必要のため、そこからとりかかります。
- 福祉施設職員との協議ができていない。

（マニュアル・手順書の整備）

- たたき台程度のものを作ってみた。これからマニュアル作成に向けていきたい。
- 叩き台は作成したが、完成した訳ではない。
- 「修正」の第一版の作成まで行かなかった。（現マニュアルの課題点の洗い出しは行ったが…）
- ある程度作成できたが、全ての研修終了後に作成する予定。
- 作成している途中で、平常時に行う事が多すぎて、マニュアルのみならず計画から考えを見直さなくてはならなかった。

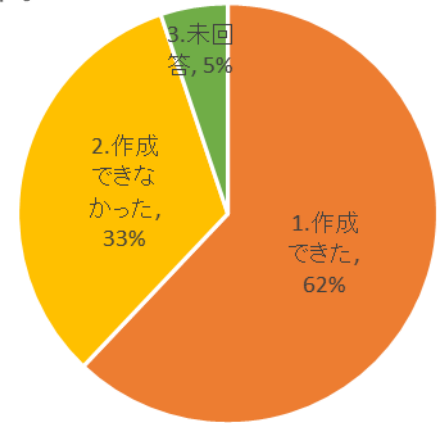
（知識不足）

- 福祉避難所の運営に関する知識不足、勉強不足のため、コロナ対策についても難しく感じてしまった。
- 自分の知識が不十分なため、完成できなかった。
- まだ福祉避難所の役割等の知識が不足しているため。

（その他）

- 県の立場で福祉避難所のマニュアルを考えることは難しかったから。
- 県職員のため、作成する立場ではありません。
- 対象外。
- 他の緊急業務への対応。
- 県の職員なので、具体的な作成まで至らなかった。

問1



問2.この研修で、今後のとりくみが見えましたか。

【何となく見えてきた】

(施設との関係づくり)

- ・ 福祉避難所との話し合いなど
- ・ 施設との具体的行動について話し合い

(人、物の準備)

- ・ 備蓄の大切さを知った。
- ・ 人材確保の難しさを考えさせられました。
- ・ 物資支援の必要性。
- ・ スタートBOXの整理。
- ・ 外部(県外)からの支援が得られない時どうするか…。

(マニュアル・手順書の整備)

- ・ 今まで施設向けのマニュアルが無かったので、まずはそれを作りたい。
- ・ 福祉避難所マニュアルの更なる見直し(特にコロナ対策を踏まえた視点を取り入れること)。
- ・ 各施設に避難計画を作成してもらい、訓練もしてもらう。
- ・ マニュアルの更新
- ・ 市としても地域を巻きこんで福祉避難所訓練を行う。
- ・ 施設内の家具固定等について、調べる必要性があると感じた。
- ・ 施設のハード、ソフト両面を見なおし、確認をしていきたいと思いました。
- ・ 町独自のマニュアルへ、今後はマニュアル磨きを行っていきたい。
- ・ 福祉避難所マニュアルのフォーマットを作成する。

(訓練・研修の実施)

- ・ FSBを各協定施設に配置し、訓練を手ごたえのあるものにしたいです。

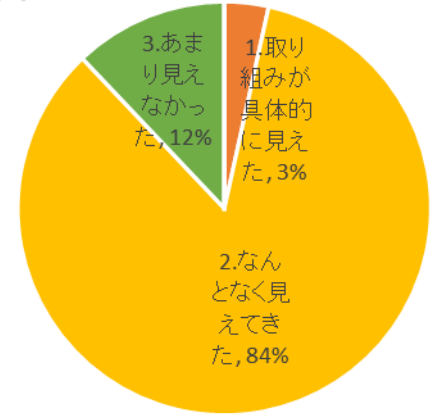
(その他)

- ・ 行政と施設の役割を明確にしたいです。
- ・ 自分の身を守るための対策(家や家具の固定など)必要と感じた。
- ・ 他市町の考え方も勉強になった。
- ・ コロナ時代とどう向きあうか
- ・ 福祉避難所としての理想を検討したい。
- ・ マニュアル作成とは関係ありませんが、福祉避難所との連携をとるために、相手側の立場(基本的物資の提供等)に寄りそった形でできればと思いました。

【あまり見えなかった】

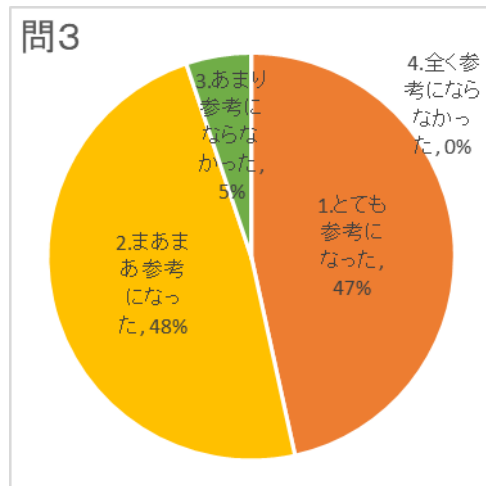
- ・ 市町のマニュアルブラッシュアップの経過、状況を情報交換する時間がなかった。
- ・ どちらかというと福祉系の係の方の研修だと感じた。※イメージがつきづらい
- ・ 通常の避難対策はコロナ対策を兼ねて行っている。「福祉」については、わが町の場合は、健常者は学校の体育館へ避難する事になっているので、想定が難しかった。福祉施設も、受入れは介護等必要な方となっているとの事。

問2



問3.今回実施した合計2回の研修は、参考になりましたか。

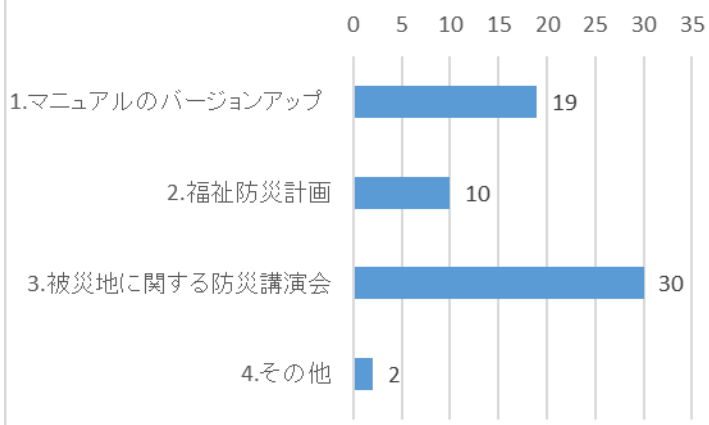
参加者の95%が、参考になったと答えている。



問4.今後、開催を希望する研修等があれば○をつけてください（複数回答可）

- グループワーク。
- 具体的な「スタートBOXの作り方」など良いと思います。
- 福祉避難所開設・運営実施訓練
- 福祉避難所協定施設の方も参加可能だとよい。（勉強会の希望がありました）
- 実際に福祉避難所の開設・運営したところの生の話が聞きたい。

問4.今後希望する研修

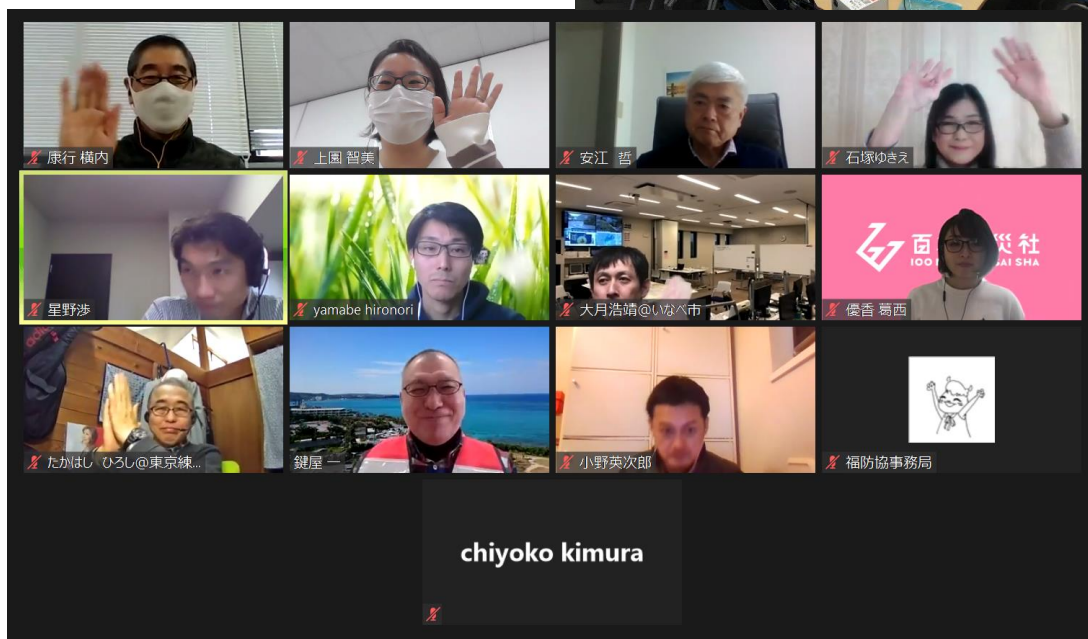


問5.その他、何かあれば自由に記述ください

- 施設と地域の常日ごろからのコミュニケーションが、防災に限らず重要だと思います。
- 避難所から地域に戻りたくないという声は、地域力の低下かとも思いますが、できれば災害を契機に、新たなコミュニケーションが生まれたという話もあれば良いし、それが共有できればもっと良いと思います。
- 静岡県が示したマニュアルに準じたマニュアルをほぼそのまま採用している市町が多い。市町のマニュアル作成の重要性もあるが、県での方針や指針を作成する重要さも説いて欲しい。

(3) 福祉防災認定コーチ資格研修

2020年度の認定コーチ研修を、2021年1月10日（日）に実施し、認定コーチ資格にチャレンジするメンバー・認定コーチの復習希望者など、8名が参加した。



募集要項：「福祉防災認定コーチ」資格研修のご案内

2020年度の「福祉防災認定コーチ研修」を開催いたします。

これまでの福祉防災認定コーチ研修では、対面で前期後期2回の研修を実施しておりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、前期研修を「動画の視聴＋自習」、後期研修を「対面での研修」として実施します。

また、本研修は既に認定されている認定コーチのスキルアップ研修としても受講可能ですので受講ご希望の方は、下記内容をお読みの上、お申し込みください。

【前期研修】zoom動画視聴による研修＋マニュアルひな型を自主学習

【後期研修】2021年1月10日（日）9:30～12:30

基本はちよだプラットフォームスクウェアで対面開催

（新型コロナによる状況および対面が難しい場合は、WEB開催を検討します）

【備考】研修のzoom映像視聴は、Macで不具合がでる場合があるため、Windows推奨とします。

«新規に認定コーチ研修を受講される方»

【受講申込】公表日～2020年12月25日（金）

【受講基準】①、②のどちらかを満たす者。

- ① 理事2名以上の推薦がある者。
- ② 防災もしくは福祉で実務経験3年以上、および研修講師の経験を持つ者で、これまでの経歴および実施した研修の内容について600字程度のレポートを提出し、審査。
（レポートの締切：12月25日）

【研修費】22,000円（税込、審査料含む）

【申込み等の流れ】下記内容に沿ってメールでお申込みください。

- ・宛先：fukubou.moushikomi@gmail.com
- ・件名を「認定コーチ資格研修申込み」としてください。
- ・申込内容（下記をコピーの上、内容を入力してお送りください）
 1. お名前（よみがな）：
 2. ご所属：
 3. メールアドレス：
 4. 当会のBCP研修等を受講したことはありますか：有 or 無
 5. 現在、当会の会員ですか：会員である or 会員ではない
 6. 受講基準1の場合：推薦する当会理事2名以上の氏名。
 7. 受講基準2の場合：600字程度のレポートを添付のこと。
- ・申し込み受付後、事務局から振り込み先などをお知らせします。
- ・研修費をご入金ください。
- ・入金確認後、研修資料等をお送りします。

【審査】

- ・研修終了後、3,000字のレポートを執筆、3月31日までに提出。
- ・当会コーチによる審査を実施。

«認定コーチのスキルアップ研修として受講される方»

- ・2020年度の会費支払済みの場合は、受講料は無料です。
- ・2020年度の会費が未払いの場合は、会費のお支払いをお願いします。
- ・前期のみ、後期のみの参加も可能です。

【申込み等の流れ】下記内容に沿ってメールでお申込みください。

- ・宛先：fukubou.moushikomi@gmail.com
- ・件名を「認定コーチスキルアップ研修申込み」としてください。
- ・申込内容（下記をコピーの上、内容を入力してお送りください）
 1. お名前（よみがな）：
 2. ご所属：
 3. メールアドレス：
 4. 認定コーチ番号：
 5. 現在、当会の会員ですか：会員である or 会員ではない
 6. 受講する研修：前期後期両方 or 前期のみ or 後期のみ
- ・申し込み受付後、事務局から必要事項をお知らせします。

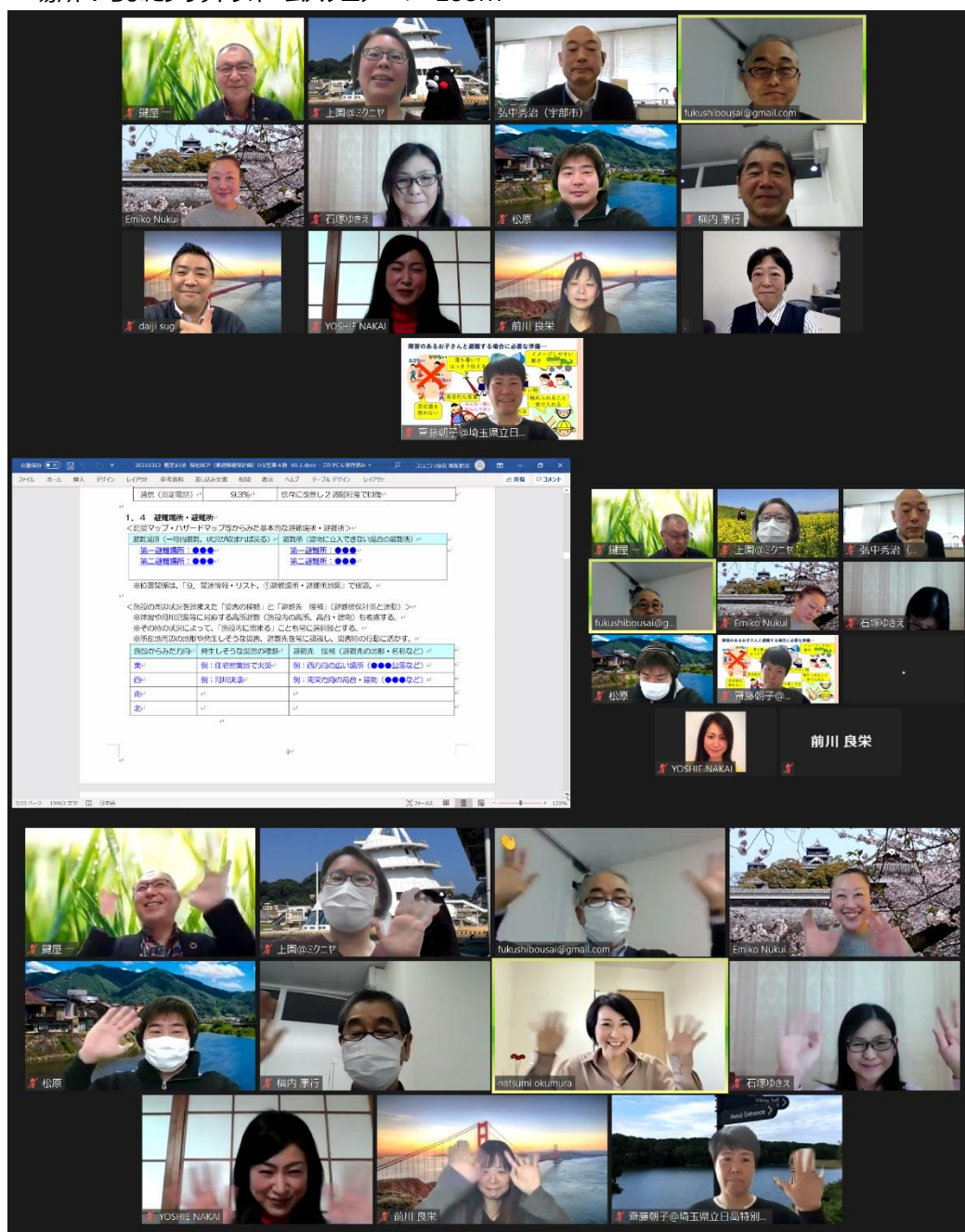
(4) 福祉防災認定コーチフォローアップ研修

福祉施設のBCP策定を義務付ける流れを受け、当会版の福祉施設BCPひな型と厚生労働省が公開した「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」「自然災害発生時の業務継続ガイドライン」のすり合わせを行い、福防協版福祉施設BCPひな型のバージョンアップを実施した。

2021年3月14日、このバージョンアップされた福防協版福祉施設BCPひな型を使った福祉防災認定コーチフォローアップ研修を行い、認定コーチ・上級コーチ14名が参加した。

日時：2021年3月14日（日）10時～13時

場所：ちよだプラットフォームスクエア + zoom



被災地への支援

(1) 令和2年7月豪雨に対して

7月17日から19日にかけて、鍵屋代表理事・石川理事・国崎理事・湯井上級コーチ・奥村認定コーチら7名が、被災した熊本県県内での支援活動を行った。株式会社大塚製薬工場から支援いただいた「経口補水液 OS-1 20箱」等を配布すると共に、被害状況調査・ヒアリング等を実施した。

【支援先】

芦北町：ハートフルゆうあい、淳光育児園、芦北支援学校、みつば学園

八代市：グループホームひかり、八代市社協災害ボランティアセンター

人吉市：人吉東小学校、人吉第一中学校、カルチャーパレス（大規模避難所）、球磨村災害支援団体拠点、その他小規模多機能居宅介護支援事業者等



芦北町 淳光育児園



八代市 グループホームひかり（高齢者施設）



八代市社会福祉協議会（ボランティアセンター）



人吉市東小学校（避難所）

拝啓 このたびは令和二年七月豪雨の被害に際し救援物資を賜り厚く御礼申し上げます。

今回の豪雨は当法人にも大きな被害をもたらしましたが、幸いご利用者の皆様、職員にけが人もなく安堵しております。グループホーム一棟、コミュニティハウスおあしす、パレットにつきましては現時点ではまだ復旧の目処は立っておりませんが、障害者支援施設においては順調に復旧作業も進み日常生活に戻りつつあります。これもひとえに皆様のご援助によるものと感謝のほかございません。

今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

甚だ略儀ではありますが、書中にてお礼のご挨拶とさせていただきます。

令和二年八月

敬具

社会福祉法人芦北福祉会 みつば学園
施設長 瀧井 喜幸
他職員一同

みつば学園からのお礼状（2020年8月6日着）

奥村認定コーチによる活動報告（一部抜粋、事務局で加筆等）

- ・ 圧倒的な人手不足。コロナ禍の影響で、県外からの支援が入れないことによる被災者の負担が増大。ボランティアが少ない。土日にもかかわらず、ほとんどボランティアの姿が見えない。これまでの被災地と比較すると比べ物にならないほど。被災住民が自力で泥かきしている。
- ・ ボランティアセンター運営問題。交代職員やボラセン経験者による支援がないため、社協の職員が疲弊。
- ・ 物資は来ても搬送できない。職員の公用車も水没し使えないため、足もない。足りないものを、物資が集積しているところから必要な避難所に運ぶのが大変。
- ・ 車が水没した住民は、お風呂にも入れない問題があった（前日に解消とのこと）
- ・ 疲労が蓄積する中での作業で、熱中症など危険。在宅（2階）避難などの被災者が見えず、危険。災害関連死を防ぐためにも、人の支援が必要。
- ・ 福祉施設：大変だったのは、断水のため給水所に行くこと。職員が40袋を毎日もらいに行った。（施設には届けてくれない）
- ・ ボラセン：職員少なく、サテライトがないため送迎にも人手を取られる。被害が酷いのは坂本町だが、国道219号が寸断されていて、本来なら片道10分から15分のところに1時間くらいかかる（山越え迂回ルートもしくは坂本PA）。3、4時間活動できるかどうか、対応一杯一杯。携帯が通じないエリアもあり、避難所にいて被災者からニーズを拾えていない。
- ・ 避難所：日中はほとんどの人が家の片付け。テレビやくつろぎスペースなし。感染者が出た時の隔離スペースを体育館の二階に設置。足りていないもの→洗剤、洗濯ネット、女の子の下着、ブラ

ップのようなサイズ様々な下着、片付けのために45リットルゴミ袋。

- ・ 千寿園：ニュースで想像していたより、高台にある印象。川から坂を登っていき、小学校の頑丈な校舎の裏側にある。ハザードマップでは浸水想定だが、これだけ川から離れ、高台だったらレベル3で避難という判断は難しいのでは（個人の感想）。完全に一階は水没。窓越しだが、内部も見え、ほぼ手付かずの状態。
- ・ 球磨村被災状況：球磨川の鉄橋が流れ、線路に流木、踏切も折れ、一階部分がぶち抜かれていたり、基礎から倒壊したりしている建物も。津波被害を受けたような状況。
- ・ 必要だと感じたもの：福防協のベスト、名刺、熱中症対策グッズ、救急セット、スリッパ（避難所用）、帽子。



熊本県内被災地での支援・ヒアリング

福祉防災認定コーチ、上級コーチ認定者

「福祉防災認定コーチ」資格研修を受講した7名が研修終了後のレポートを提出し、審査により認定コーチとして認定した。

	福祉防災認定コーチ		福祉防災上級コーチ	
	認定番号	氏名	認定番号	氏名
2016 年度	認定コーチ160001	湯井 恵美子	上級コーチ160001	鍵屋 一
	認定コーチ160002	今井 徹	上級コーチ160002	岡橋 生幸
	認定コーチ160003	弘中 秀治	上級コーチ160003	横内 康行
	認定コーチ160004	阿部 久美	上級コーチ160004	高橋 洋
	認定コーチ160005	須藤 幸恵		
	認定コーチ160006	池田 健		
	認定コーチ160007	嶋田 宏昭		
	認定コーチ160008	石塚 由江		
	認定コーチ160009	杉 大治		
	認定コーチ160010	中井 佳絵		
	認定コーチ160011	前川 良栄		
	認定コーチ160012	奥村 奈津美		
	認定コーチ160013	村野 淳子		
	認定コーチ160014	高橋 智宏		
	認定コーチ160015	多田 真由美		
	認定コーチ160016	梅山 吾郎		
2017 年度	認定コーチ170017	藤川 祥子		
	認定コーチ170018	齋藤 朝子		
2018 年度			上級コーチ180005	湯井 恵美子
			上級コーチ180006	上園 智美
2019 年度	認定コーチ190019	園崎 秀治		
	認定コーチ190020	田原 佳織		
	認定コーチ190021	サニー カミヤ		
	認定コーチ190022	岡野谷 純		
	認定コーチ190023	松原 龍		
2020 年度	認定コーチ200024	葛西 由香		
	認定コーチ200025	星野 渉		
	認定コーチ200026	大月 浩靖		
	認定コーチ200027	安江 哲		
	認定コーチ200028	小野 英次郎		
	認定コーチ200029	山部 博則		
	認定コーチ200030	木村 知世子		

展示会等への出展やマスコミ等による紹介

(1) ぼうさいこくたい2020への出展

「ぼうさいこくたい2020」は、新型コロナウイルス感染症対策のため10月3日にオンラインで開催され、『みんな元気になる福祉避難所』をプレゼン枠で出展した。

プレゼン

出展団体の取り組みを写真・動画で紹介します。

● 担当者と直接話ができる面談を行えるプレゼンもあります。面談をご希望の場合は、以下の方法で事前予約をお願いします。(定員に達したプレゼンは事前予約ができない場合があります。)

面談
予約方法

①
特設ページ開設後、ホームページの予約申し込みフォームから予約します

②
開始30分前までに「meet in」面談用URLがメール連絡で届きます

③
予定時間の5分前までに面談用URLから「meet in」入室ください

④
プレゼン面談開始！

PR-36 ● (一社)福祉防災コミュニティ協会

みんな元気になる福祉避難所

全国各地で、様々な自然災害等が発生しています。災害時、社会福祉施設や事業者は、施設の入所者・利用者や職員の命を守ることはもちろんのこと、常日頃から行っている利用者への支援を続けるという責務を担わなければなりません。災害等に備えて、常日頃から行われている利用者への支援が途切れないよう、あらかじめ準備しておくことが重要です。



プレゼン枠の仕組みおよび出展詳細

新しい取り組みとして「オンライン面談」が行われ、4名の面談予約があった。こくたい事務局から提供されたシステム「meet in」や電話、Zoomを利用して、高橋副理事長・石塚理事が福祉防災に関する問合せや相談に答えた。

【質問】

- ・ 特養や福祉施設の福祉避難所開設の課題や実際の被災地での活動を通して、福祉避難所開設時の支援について聞きたい。
- ・ 特別支援学校のことが気にかかる。機会があれば、何か協力できればと思っている。
- ・ こども福祉避難所について教えてほしい。

ぼうさいこくたい2020【オンライン開催】各団体別 プレゼン アクセス数					
【プレゼン】 団体紹介ページ		当日(10/3)		累計(9/10~10/4)	
主催		ページ別訪問数	ページビュー数	ページ別訪問数	ページビュー数
PR-36	(一社)福祉防災コミュニティ協会	69	89	250	300
プレゼン合計		5,156	6,442	18,099	21,941
※訪問数 : Webページに、アクセス(閲覧)した数がカウントされます。					
※ページビュー数 : ユーザーがWebページを表示した回数のことを表します。同じページを読み直した場合でも、ページビュー数はカウントされます。					

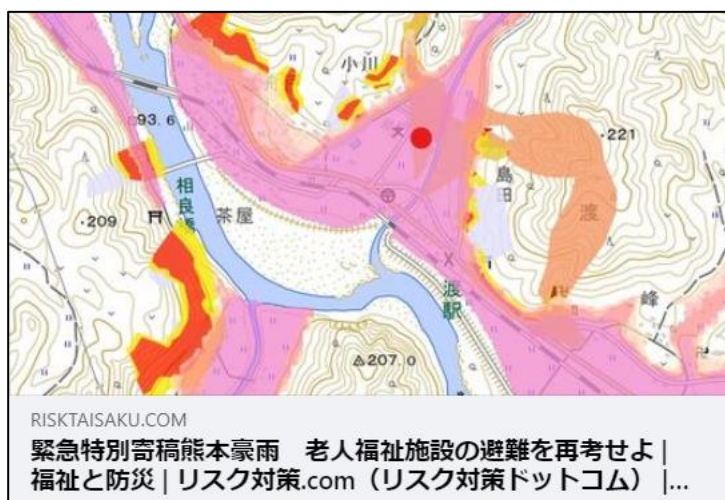
特設サイトの紹介ページに関する集計結果

(2) マスコミからの取材

7月5日、リスク対策.comへの緊急特別寄稿として「熊本豪雨 老人福祉施設の避難を再考せよ 球磨村・特別養護老人ホームで甚大な被害」がアップされた。その後、マスコミからの取材連絡が寄せられた。

【取材連絡をいただいたマスコミ】

- 光文社：FLASH（フラッシュ）
- ニューヨークタイムズ東京支局
- 日本経済新聞社東京支社



リスク対策.com への特別寄稿



ニューヨークタイムズ掲載記事

(3) 自治体広報紙への掲載

大阪府高槻市が発行する「たかつきDAYS（広報たかつき）」の令和3年1月号で、湯井上級コーチが「クローズアップ1 地震に備える 家の中を安全に」に掲載された。

クローズアップ1

地震に備える 家の中を安全に



こんな部屋になってない？

- ①家具の転倒、落下対策をしていない
- ②窓ガラスに飛散防止フィルムを貼っていない
- ③逃げ道になる通路に物を置いている
- ④ガラス製の水槽などを棚の上に置いている
- ⑤照明器具を固定していない

覚えてくれたん

湯井剛英子さん
「一社」福祉防災コミュニティ委員会所属。大阪府北部地震の際、本市の災害ボランティアセンターで避難の補助などを行った防災士。各地で被災地支援活動や講演などを行う。

インタビュー

物を置かない暮らしが 一番の防災になる

湯井剛英子さん

「地震はいつ起こるかわかりません。地震が起きたときに、家の中の物が落ちて怪我や火災の原因になることがあります。地震に備えるには、普段から物を置かない暮らしを心がけることが一番の防災になります。例えば、家具の転倒防止や、ガラス製の水槽などを棚の上に置かないなど、小さなことから始めていくことが大切です。」

できる備えから始める

湯井剛英子さん

「地震に備えるには、できることから始めていくことが大切です。例えば、家具の転倒防止や、ガラス製の水槽などを棚の上に置かないなど、小さなことから始めていくことが大切です。」

フェイスブックによる情報発信（災害関係のみ）

大災害が発生した際、被災者へ向け、協会からのお見舞いの言葉と共に、情報発信を実施している。2020年度は以下 5 件の発信を実施した。

（１）2020年7月4日（7月3日～の熊本県南部を中心とした豪雨に対して）

九州南部の豪雨災害「高齢者・障がい者等の被災者支援」（2020.7.4.14:45）

跡見学園女子大学教授・（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事 鍵屋 一

このたびの九州南部の豪雨災害で被災された皆様に、心からのお見舞いを申し上げます。被害が広がらず、一刻も早く復興されますよう心から祈念いたします。

メディアの方々には被災者、被災自治体支援の観点からの報道をお願いいたします。災害が発生してしまえば、事前の対策がどうだったかなど考えている場合ではありません。被災者はもとより自治体、防災関係団体は、次の被害を最小限にとどめるため、全力を尽くさなければならないからです。

また、高齢者・障がい者等の支援のため、自治体、関係団体の方には、従来の対策とともに以下のことにも取り組んでいただけますよう切にお願いいたします。

（１）コロナ禍での避難生活（公衆衛生の悪化の防止）

・避難所については、体育館で雑魚寝から始まる避難生活を避けなければなりません。今の今は、やむを得ないかもしれませんが、ホテル、旅館、学校ではできるだけ教室を使わせていただき、少人数・個別空間での避難生活を目指しましょう。

・車中泊を含む在宅避難者の安否確認、ケアを早めをお願いします。1階が浸水して、2階で生活している被災者がとても心配です。自宅が水に浸かって下着が濡れ、洗濯機も使えずに何日も同じ下着を使っていた事例もあります。避難所は地域全体の避難生活を支える拠点であり、在宅の避難者でも支援物資を受け取れます。このことを、住民のみなさんにお伝えください。

（２）福祉避難所の開設

・福祉施設も大変な中ではありますが、余力のある施設は事前指定の有無にかかわらず、また自治体からの要請を待たずに、福祉避難所として高齢者・障がい者等を受け入れていただきたいと思います。

・福祉避難所では、人と物資が不足するので、早い段階で仲間の法人、会社、自治体に応援要請をすることが大切です。長期戦になりますので、職員が疲れ切ってからではなく、早めに交代要員を確保してください。

（３）「地域支え合いセンター」の早期設置

・災害後には、生活支援や再建に関する重要情報を在宅避難者らに伝え、見守り支援により災害関連死を防止する拠点が必要です。そこで、社会福祉協議会には福祉関係者を中心に在宅支援を行う「地域支えあいセンター」を、早期に設置することをお願いします。

・これまでの災害で「地域支え合いセンター」業務を担われた方は、リモート、または現地でその経験をお伝えください。

【参考】わかりやすいお役立ち資料

・『新型コロナウイルス 避難生活お役立ちサポートブック』

健康チェックリストや感染者、濃厚接触者、要介護者、妊産婦・乳幼児など被災者の状況に応じて、

学校の教室を活用したゾーニングレイアウト案を参考にしてください。（「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）」の専門委員会「避難生活改善に関する専門委員会」作成）

<http://jvoad.jp/.../06/5a06198f7ed43dc4d5d3d57f86dc6032.pdf>

・『水害にあったときに～浸水被害からの生活再建の手引き～』

日常生活を取り戻そうと考え始めたときに有効です。イラストが多く、保険の請求、浸水した家屋の泥出し・乾燥などのポイントがとても分かりやすいです。（「震災がつなぐ全国ネットワーク」作成）<https://blog.canpan.info/shintsuna/archive/1420>

リーチした人数	434	エンゲージメント数	156
---------	-----	-----------	-----

（２）2020年9月4日（2020年9月4日～9月7日の台風10号に対して）

【コロナを忘れよ、命を守れ！】

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

代表理事 鍵屋一

9月4日（金）正午現在、観測史上、最大級の台風10号が九州・沖縄地方に接近している。なんとかしてでも、一人残らず無事に避難して命を守っていただきたい。

しかし、新型コロナウイルス感染を危惧して避難が遅れることが心配だ。毎日、メディアでコロナの脅威が大量に伝えられると、情報過多となり、必要以上に不安や心配な気持ちになりやすいからだ。今は、コロナを忘れて、命を守るときだ。

【住民のみなさまへ】

まずは、ハザードマップを確認してほしい。家が大丈夫な人はもちろん家にとどまろう。都市部のマンション高層階などがそうだ。ただ、停電と断水の可能性があるのでトイレ、水、食料、灯りの確保などが必要だ。

家の浸水リスクが高ければ早めに避難しよう。風水害の避難は長くないので、車避難もいい、遠くのホテルや旅館に行くのも良い、マンション住まいの子どもを頼ってもよい。早めに避難する方が多くなればなるほど、指定避難所となる学校への避難者は少なくなり、結果としてスペースの確保、共有空間の衛生向上、物資の確保などコロナ対策がしやすくなる。

【自治体職員のみなさまへ】

まずはご自宅、ご家族の安全確保が最も重要だ。できれば今日中、遅くとも明日の午前中には安心して災害対応ができる状況をつくっていただきたい。

次に、台風が来ても人的被害をなくすよう準備をしておこう。それには、避難行動要支援者の早めの避難が鍵になる。経費の心配をせずに、災害前に安全な親族・知人、福祉施設やホテル・旅館など環境の整った場所に直接避難を斡旋していただきたい。

また、自治体職員は、台風後の避難生活支援が重要で長期戦になる。今から、応援職員確保の手順を確認し、事前に応援依頼をしておくことが大事だ。応援職員に準備と心構えの時間を与えることができる。

そして、今日はしっかりと休んでいただきたい。

【福祉施設のみなさまへ】

福祉施設の方は早く逃げるのが大事だとわかっているが、高齢者や障がい者にとっては、環境が変化しない、すなわち移動しないほうがよいので、単に早い避難とはならず悩ましいところだ。

しかし、台風10号は、50m級の暴風（瞬間最大風速で80m！）の巨大台風だ。逃げるしかない。まず、台風の暴風雨圏が予測され、ハザードマップでリスクが高く、上階への避難でも危険な福祉施設では、利用者を早めに屋外に避難させなくてはならない。暴風雨になってしまうと避難行動そのものが極めて危険だ。

ところで、良い避難場所は確保されているだろうか。認知症の方は、ベッドが必要で、プライバシーの確保ができないと不安定になり、トイレも近くないとだめなので、学校への避難では福祉サービスの継続が難しい。できるなら、安全な場所にある知り合いの福祉施設に要介護度が高い人だけでも、早めに避難させていただきたい。そのような場所が思い浮かばなければ、早急に自治体に相談いただきたい。

暴風雨圏から離れていても、西日本では大雨、洪水、高潮、土砂災害のリスクが非常に高い。やはり、早めに安全を確保することだ。

もちろん早い全員避難が望ましいのだが、現実を踏まえれば、段階的な避難はどうだろうか。警戒レベル2の段階で、避難確保計画やマニュアルを確認する。警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）で持出し物資を車に積み込み、要介護度が低い方と一緒に避難する。避難させても災害にならなければ空振りといわれるが、真剣に訓練する絶好の機会ととらえたい。そのうえで、状況を見て要介護度が高い方を、大勢の職員と地域住民の協力を得て避難させる。なお、明らかに被害が出そうなら、警戒レベル3で全員避難である。

残された時間は少ない。これまでの福祉施設の被害を思い出し、全力で利用者と職員を守り抜いていただきたい。

みなさま、くれぐれもご安全に！

リーチした人数	2,950	エンゲージメント数	546
---------	-------	-----------	-----

その他の活動

（１）新テキスト「ひな型でつくる福祉防災計画～避難確保計画からBCP、福祉避難所～」の出版

これまでのテキストをブラッシュアップした改訂版テキストが、2020年7月1日に「ひな型でつくる福祉防災計画～避難確保計画からBCP、福祉避難所～」として（公財）東京都福祉保健財団から出版された。

【主要目次】

- 第1章 消防・防災計画からのBCP(事業継続計画)への展開
- 第2章 BCP作成の参考となる基準や知識
- 第3章 「事業継続計画(BCP)」をつくってみよう
- 第4章 福祉避難所
- 第5章 資料編

【監修・著者】

鍵屋 一：福祉防災コミュニティ協会 代表理事

【著者（執筆順）】

岡野谷 純：福祉防災コミュニティ協会 監事

岡橋 生幸：福祉防災コミュニティ協会 理事

高橋 洋：福祉防災コミュニティ協会 副理事長



（２）「高齢者福祉施設における水害対策ハンドブック ～相次ぐ水害から利用者・職員を守るために～」の公開

高齢者福祉施設における
水害対策ハンドブック
～相次ぐ水害から
利用者・職員を守るために～



高橋洋副理事長がアドバイザーを務めた「高齢者福祉施設における水害対策ハンドブック ～相次ぐ水害から利用者・職員を守るために～」が、東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会のホームページ（東京都高齢者福祉施設協議会発行 パンフレット一覧）にアップされた。（非売品、PDFデータでの提供のみ）

（３）「高齢者福祉施設における水害対策ハンドブック ～相次ぐ水害から利用者・職員を守るために～」をベースにしたWeb研修会の公開

「高齢者福祉施設における水害対策ハンドブック～相次ぐ水害から利用者・職員を守るために～」をベースにしたWeb研修会が、東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会さんのホームページで公開された。

Web研修会「水害・台風などの災害に備えて」

I 部 講義：高橋洋（福祉防災コミュニティ協会 副理事長）

II 部 事例報告・質疑：喜久松苑様、あかつき苑様



（４）埼玉福祉会との「防災スタートBOX」販売に向けた契約

社会福祉法人埼玉福祉会と防災スタートBOXに関する販売実施に向けた契約を行った。今後は、半期ごとに販売個数に応じた実施料が支払われる。

防災スタートBOXは、以下の防災機器・備品から構成される。

1. 防災スタートBOX実践指示書
2. 事業継続計画（BCP）兼避難確保計画
3. 防災情報機器8点セット
4. 防災文具12点セット



(5) 「一緒に助かるために – 高齢者・障がい者等と支援者のための防災マニュアル–」の出版

鍵屋代表理事が編著・監修した「一緒に助かるために – 高齢者・障がい者等と支援者のための防災マニュアル–」が、東京法令出版からリリースされた。



(6) 「ふわふわ言葉 避難所生活編」の公開

岡橋理事・石塚理事らが作成した「ふわふわことばで、優しさあふれるコミュニティに。」を、当会Facebookページで公開した。



(7)「2020年度 地方創生SDGs 官民連携優良事例の選定」に応募

地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム

地方創生SDGsに官民連携で取り組む事例を募集・PRします!
～地方創生SDGs官民連携プラットフォーム 官民連携事例の募集・選考～

[応募期間] 2020年10月14日(水)～11月13日(金) ※延長しました

プラットフォーム会員の皆様が取り組む、SDGsを通じた地域課題の解決等に向けた官民連携の事例を募集し、PRします。皆様の取組のさらなる推進や、先駆的な事例の普及展開により、プラットフォーム活動のより一層の活性化を図ります。たくさんのご応募をお待ちしております!

【応募団体】
①プラットフォーム会員であること。(加付にあたっては、連携している関係の承諾書をご提出ください。)
②1団体当たり複数事例のご応募も可能です。

【応募事例の要件】
①地方公共団体等が参画しているなど、官民連携の取組であること。
②地域課題の解決等につながる取組であること。
③SDGsの達成に向けた取組かつ地方創生に資する取組であること。
④既に取組が開始されており、具体的な事業として進んでいるものであること。

【応募後の流れ等について】
①応募いただいた事例についてはすべてウェブサイトに掲載し、PRします。
②特に先駆的な事例について、会員の皆様からの投票及び選考委員による選考を実施し、優良事例としてイベント等の場でPRします。
※選考の流れ及び選考の視点等については、裏面をご覧ください。

応募については、以下のページをご参照ください。

官民連携事例募集ページ <https://future-city.go.jp/platform/case/>

応募方法
WEB入力フォームでの応募の場合
応募様式(パワーポイント)を作成いただいたうえで、上記募集ページより入力フォームにアクセスし、内容の記入及び資料のアップロードを行ってください。
応募様式(パワーポイント)及び提出団体情報シート(エクセル)を作成・記入いただき、以下提出先へ送付ください。
【提出先】 jirei@sdfs-futurecity.jp
※応募様式等については、上記「官民連携事例募集ページ」よりダウンロードいただけます。

官民連携事例の応募についてのお問い合わせ **官民連携事例収集推進事務局**
TEL 03-4326-8166 E-mail jirei@sdfs-futurecity.jp

「内閣府官民連携プラットフォームの地方創生SDGs」優良事例の選考に、当会と㈱百年防災社が協働で応募した。

応募したプロジェクトは、災害時にも「誰一人取り残さない」地域づくりを目指し「企業版ふるさと納税」を活用し、官民が連携して地方創生に寄与する内容で、自治体とSDGs推進に意欲ある企業を繋いで、災害に強いまちづくりを多くの地域で進めていく内容であったが、残念ながら選外となった。



(8) 映画「きこえなかったあの日」

聴覚障がい者と災害の記録を撮影したドキュメンタリー映画「きこえなかったあの日」の制作協賛を行い、ちらし・エンドロール等に掲載された。

(9)「おやこ防災チャレンジデー」でのイベント実施

2020年11月15日、「おやこ防災チャレンジデー（世田谷区後援）」で奥村認定コーチが防災絵本の読み聞かせとSOSカード作成のワークショップを実施した。



2020年度の成果（実績）とインパクト

2020年度に実施した研修は、以下の通り。

【協会主催のもの】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2021/1/10	認定コーチ資格研修	8	ちよだプラットフォーム+Zoom	鍵屋上級コーチ
2021/3/14	認定コーチフォローアップ研修	14	ちよだプラットフォーム	鍵屋上級コーチ 高橋上級コーチ
参加者数合計		22	(参考) 2019年度 : 79	

【自治体等からの研修】

開催日	内容/場所/回数	参加者数	会場	講師 OJTメンバー
2020/6/24	静岡県静岡地区「福祉避難所マニュアル研修会」前期	20	静岡県産業経済会館	鍵屋上級コーチ 石塚認定コーチ 木村
2020/8/7	静岡県静岡地区「福祉避難所マニュアル研修会」後期	17	あざれあ	高橋上級コーチ 湯井上級コーチ 木村
2020/7/1	静岡県浜松地区「福祉避難所マニュアル研修会」前期	17	アクトシティ浜松	鍵屋上級コーチ 横内上級コーチ 奥村認定コーチ
2020/8/19	静岡県浜松地区「福祉避難所マニュアル研修会」後期	13	アクトシティ浜松	高橋上級コーチ 横内上級コーチ 奥村認定コーチ
2020/7/10	静岡県沼津地区「福祉避難所マニュアル研修会」前期	36	プラサヴェルデ	鍵屋上級コーチ 高橋上級コーチ 松原認定コーチ
2020/8/18	静岡県沼津地区「福祉避難所マニュアル研修会」後期	34	プラサヴェルデ	高橋上級コーチ 中井認定コーチ 松原認定コーチ
2020/10/9	愛知県蒲郡市福祉避難所 防災担当者及び、障害部門 の相談支援専門員向け研修	不明	録画データを、先 方で配信	高橋上級コーチ

開催日	内容/場所/回数	参加者数	会場	講師 OJTメンバー
2020/11/30	千葉県市原市福祉避難所開設・運営マニュアル作成研修前期	40	市原市役所第1庁舎4階1402A・1402B会議室	鍵屋上級コーチ 石塚認定コーチ 岡野谷認定コーチ
2021/3/17	長崎県認知症グループホーム連絡協議会 会員向けBCP策定講演会	30	オンライン研修 (先方設定のZOOMにて)	高橋上級コーチ
参加者数合計		207	(参考) 2019年度：331	

千葉県市原市の福祉避難所開設・運営マニュアル作成研修については、後期研修および訓練研修を2020年度内に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症のため年度を跨ぎ、2021年度に実施することとなった。



千葉県市原市 福祉避難所開設・運営マニュアル作成研修の様子

【消防防災科学センター受託】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/10/6	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修（三重県）	20	三重県吉田山会館 206会議室	横内上級コーチ 湯井上級コーチ 前川認定コーチ
2020/10/21	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修（和歌山県）	62	和歌山県庁南館 防災会議室	湯井上級コーチ 上園上級コーチ 前川認定コーチ
2020/10/28	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修（神奈川県）	42	オンライン（ZOOM）	高橋上級コーチ 横内上級コーチ 石塚認定コーチ
2020/11/6	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修（岡山県）	29	きらめきプラザ 中会議室	上園上級コーチ 湯井上級コーチ 中井認定コーチ
2020/11/17	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修（島根県）	27	島根県県民会館 第1、第2多目的ホール	鍵屋上級コーチ 上園上級コーチ 湯井上級コーチ
参加者数合計		180	（参考）2019年度：450（4県・前後期）	

【その他組織が主催で講師が個別で実施したもの】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/5/12	災害看護対象論 誰も取り残さない「福祉的な避難」を考える ～令和元年台風19号長野県佐久穂町の事例より～	8	兵庫県立大学地域ケア開発研究所 （現地でオンライン）	湯井上級コーチ
2020/5/22	女性防災オンラインセミナー「災害救助法を現場で生かすために」	50	オンライン	高橋副理事長
2020/7/3	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー 脆弱化する日本社会と要配慮者の避難支援	200	香川大学、オンライン	鍵屋代表理事

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/7/14	福祉BCP作成事前研修 医療・福祉施設の避難行動 と避難生活	60	西脇市正峰会大山 記念病院（対面）	湯井上級コーチ
2020/7/28	東京都福祉保健財団保育 研修	90	東京都福祉保健財 団研修室	鍵屋代表理事
2020/7/28	ヘルプカードで支え合いの箭 田家づくり事業第1回 基 調講演とヘルプカード作り検 討ワークショップ	30	倉敷市真備町箭田 地区（オンライン）	湯井上級コーチ
2020/8/5	八王子西特別支援学校 大災害時における特別支援 学校と福祉避難所	80	八王子西特別支援 学校	鍵屋代表理事
2020/8/8	大阪市生涯学習まちづくり市 民大学「いちようカレッジ」専科 「いのちを守る防災コース」 誰も取り残さない「福祉×防 災×コミュニティ」	30	大阪市生涯学習セ ンター（対面）	湯井上級コーチ
2020/8/9	災害関連死ゼロサミット	200	オンライン	鍵屋代表理事
2020/8/12	江戸川区多職種研修 災害時の福祉を考える～近 年の災害に学ぶ～	150	タワーホール船堀 オ ンライン	鍵屋代表理事
2020/8/17	みんなで考える地域課題／ 新型コロナ編 コロナ孤独から地域を守れvo l.10福祉×防災 九州豪雨 災害支援報告	40	オンライン（Zoo m）イベント	湯井上級コーチ
2020/8/21	京都市立鳴滝総合支援学 校教職員研修 災害からいのちを守りつなぐ～ 特別支援学校の事業継続 計画について～	40	京都市立鳴滝総合 支援学校（オンライ ン）	湯井上級コーチ
2020/8/25	内閣府防災スペシャリスト研 修福祉避難所	100	オンライン	鍵屋代表理事
2020/8/30	北海道ウトロ地区オンライン 防災訓練	80	オンライン(TEAMS)	中井認定コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/9/4	大分県日田市勉強会 福祉避難所の開設運営	25	大分県日田市役所（NPO法人リエラ／被災地NGO協働センター（オンライン）	湯井上級コーチ
2020/9/5	# オンライン防災 コロナ禍で防災を伝えていくために「みんなで助かる身近な実践」	100	オンライン（Zoom）イベント	湯井上級コーチ
2020/9/8	令和2年7月豪雨にみるよう配慮者の安全なん避難「誰一人取り残さない！ 福祉×防災×コミュニティ」	40	大阪市淀川区社会福祉協議会（対面）	湯井上級コーチ
2020/9/9	筑波大学附属大塚特別支援学校PTA 大災害から障がい児を守る	60	筑波大学附属大塚特別支援学校	鍵屋代表理事
2020/9/10	茨木商工会議所青年部 2020 年度 9 月例会「「最後のひとりまで」地域のみんなのいのちを大切に考える SOSカードをみんなで作ろう	60	茨木商工会議所青年部（対面）	湯井上級コーチ
2020/9/12	オンライン防災訓練「わが子にとって最良の避難所とは」福祉防災の専門家と考える	30	オンライン（Zoom）	湯井上級コーチ
2020/9/16	ヘルプカードで支え合いの箭田家づくり事業第2回 基調講演とヘルプカード作り検討ワークショップ	30	倉敷市真備町箭田分館（対面）	湯井上級コーチ
2020/9/17	令和2年度教育課題別研修「防災教育」（1）誰ひとり残さない！ 福祉×防災×コミュニティ	38	寝屋川市総合教育研修センター（オンライン）	湯井上級コーチ
2020/9/18	誰も取り残さない「福祉×防災×コミュニティ」	70	兵庫県立山崎高校 家政科（対面）	湯井上級コーチ
2020/9/25	大分県日田市勉強会 福祉避難所の開設運営	30	大分県日田市役所（NPO法人リエラ／被災地NGO協働センター（オンライン）	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/9/30	医療・福祉施設のBCP作成研修（前期）	60	西脇市正峰会大山記念病院（対面）	湯井上級コーチ
2020/10/3	コロナ感染症対策と地域での避難所対策 「誰も取り残さない 福祉×防災×コミュニティ」	100	摂津市コミュニティプラザ（対面）	湯井上級コーチ
2020/10/4	防災喫茶～防災について楽しく学べる～①誰も取り残さない「福祉×防災×コミュニティ」	20	豊中市豊島北センター／NPO法人アンジュ（対面）	湯井上級コーチ
2020/10/6	東京都福祉保健局 大災害から福祉を守るために～近年の災害に学ぶ～	300	中野ゼロホール、オンライン	鍵屋代表理事
2020/10/26	コロナと自然災害 避難と避難所を考える 防災スキルアップ研修会（1） 福祉強化型地区防災計画「福祉×防災×コミュニティ」	30	大分県日田市役所（NPO法人リエラ／被災地NGO協働センター（オンライン）	湯井上級コーチ
2020/10/29	茨木市障がい者施設連絡会BCP作成研修会（前期）	30	茨木市福祉文化会館（対面・オンライン同時開催）	湯井上級コーチ
2020/10/30	コロナ感染症を踏まえたHUG体験	35	草津市立まちづくりセンター／災害支援市民ネットワーク（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/7	災害時でも慌てない～都市で暮らすということ	20	目黒区青少年プラザ	高橋副理事長
2020/11/9	神戸学院大学専門教育科目「社会貢献実習I」コロナ感染症を踏まえたHUG体験	20	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/11	療育自立センター BCP作成研修会（前期）	50	寝屋川市立療育自立センターあかつきひばり園（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/13	自治体災害対策全国会議 高齢者・障がい者等の避難支援の課題と展望	400	オンライン	鍵屋代表理事

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/11/16	レジリナイトHiroshima 福祉避難所～要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援～	30	広島市総合福祉センター	鍵屋代表理事
2020/11/19	都市防災推進セミナー 水災害死者ゼロを目指す新たな防災戦略 ～ 広域化・激甚化・複合化する水災害から命と尊厳を守るために～	200	都市センターホテル、オンライン	鍵屋代表理事
2020/11/19	奈良県立明日香養護学校PTA防災研修会 誰一人取り残さない 福祉×防災×コミュニティ	40	奈良県立明日香養護学校（現地でオンライン）	湯井上級コーチ
2020/11/20	特別区職員研修 災害時における障がい者支援とは	80	特別区職員研修所	鍵屋代表理事
2020/11/20	泉大津市ボランティア連絡会 防災研修会 正しく恐れ、支え合うために 誰も取り残さない 福祉×防災×コミュニティ	30	泉大津市総合福祉センター（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/20	龍谷大学政策学部（石原ゼミ） 誰一人取り残さない 福祉×防災×コミュニティ	20	龍谷大学深谷キャンパス（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/21	出先や自宅で被災したときの対応や避難ルールを一緒に考えよう	20	目黒区青少年プラザ	高橋副理事長
2020/11/25	医療・福祉施設のBCP作成研修（後期）	60	西脇市正峰会大山記念病院（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/26	東京都福祉保健局障害福祉サービス事業所職員研修 災害時における障がい者支援とは	60	多摩総合精神保健福祉センター	鍵屋代表理事

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/11/26	ヘルプカードで支え合いの箭田家づくり事業第3回 基調講演とヘルプカード作り検討ワークショップ	30	倉敷市真備町箭田分館（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/27	奈良県肢体不自由児者父母の会連合会 防災研修会 誰一人取り残さない 福祉×防災×コミュニティ	30	奈良県社会福祉総合センター会議室（対面）	湯井上級コーチ
2020/11/29	防災喫茶～防災について楽しく学べる～①誰も取り残さない「福祉×防災×コミュニティ」	20	豊中市豊島北センター／NPO法人アンジュ（対面）	湯井上級コーチ
2020/12/4	大分県防災教育モデル実践授業 公開研究発表会特別支援学校BCPと地域連携	40	大分県立日田支援学校（オンライン）	湯井上級コーチ
2020/12/5	千里山コミュニティ協議会 地域コミュニティと防災・減災 地域で支える「誰一人取り残さないコミュニティ」へ	25	吹田市コミュニティセンター（対面）	湯井上級コーチ
2020/12/6	「熊野町防災・減災まちづくり会議 第5回」 誰も取り残さない～福祉×防災×コミュニティ～	28	熊野町役場 3階会議室／日本ミクニヤ株式会社（対面）	湯井上級コーチ
2020/12/7	ヘルプカードで支え合いの箭田家づくり事業第4回 基調講演とヘルプカード作り検討ワークショップ	30	倉敷市真備町真備支所会議室（対面）	湯井上級コーチ
2020/12/8	東京都福祉保健財団保育研修	60	東京都福祉保健財団研修室	鍵屋代表理事
2020/12/14	茨木市障がい者施設連絡会 BCP作成研修会（後期）	30	オンライン（Zoom）	湯井上級コーチ
2020/12/15	「大阪教組 女性参画セミナー」～みんなにやさしい防災減災を考える～	40	大阪市たかつガーデン（対面）	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020/12/17	栃木県避難行動要支援者研修	70	栃木県庁	鍵屋代表理事
2020/12/20	災害に「も」強いマンションとは！～在宅避難のススメ～	15	吹田市桃山台地区A1マンション理事会 防災研修会（対面）	湯井上級コーチ
2021/1/12	近畿・東海・北陸地区病弱・虚弱教育研究連盟 近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育学校PTA連合会 特別支援学校の防災から地域社会の防災拠点へ	30	オンライン（Zoom）	湯井上級コーチ
2021/1/13	療育自立センター BCP作成研修会（後期）	50	寝屋川市立療育自立センターあかつきひばり園（対面）	湯井上級コーチ
2021/1/16	文京区介護サービス事業者部会 災害時における高齢者等の支援と福祉専門職の役割	60	文京区役所、オンライン	鍵屋代表理事
2021/1/18	コロナ感染症を踏まえたHUG体験「要配慮者編」	35	草津市立まちづくりセンター／災害支援市民ネットワーク（対面）	湯井上級コーチ
2021/1/25	令和2年度熊野町内防災教育の充実に向けての取組『コロナ禍での 防災減災教育』	20	熊野町役場庁舎	中井認定コーチ
2021/1/25	三重県学校保健会伊賀養護部会防災研修会 障がいのある子どもたちのための防災減災	30	Zoomでの録画媒体を提供	湯井上級コーチ
2021/1/25	茨木市男女共同参画 with コロナのしなやか防災講座 みんなで助かる！福祉防災を考える	30	茨木市立男女共生センターローズWAM（対面）	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2021/1/26	京都市ボランティアセンター 災害時用配慮者支援研修 誰も取り残さないために ～「いつか」じゃなく「今、備える」防災アクション！～	40	京都市福祉ボランティアセンター（対面）	湯井上級コーチ
2021/2/9	東京都社会福祉協議会 災害時の高齢者・障がい者等の支援と福祉専門職の役割	100	オンライン	鍵屋代表理事
2021/2/10	広島市事業「心の参観日」 防災出前授業	60	広島市立阿戸中学校	中井認定コーチ
2021/2/11	広島大学／国連ユニタール協会／広島NPOセンター みんなで助かる！ 福祉避難所を考える	30	オンライン（Zoom）	湯井上級コーチ
2021/2/14	日本防災士会大阪府支部 堺ブロック スキルアップ研修 今だからこそ考える防災～女性防災士の立場から～ 複合災害での要配慮者支援 女性防災士の地域協働へのアプローチ	30	堺市健康福祉プラザ（対面・オンライン同時開催）	湯井上級コーチ
2021/2/23	歴史ある建物と災害、火災から歴史あるまちなみを守る コロナ禍での災害対応の実際と課題 「令和2年7月豪雨の被災地から」	30	古材文化の会（オンライン）	湯井上級コーチ
2021/3/4	熊取町災害ボランティアセンター運営シミュレーション訓練 「災害にも強い熊取町を目指して」	15	熊取ふれあいセンター3F（対面）	湯井上級コーチ
2021/3/6	オンライン防災 東日本大震災10年 愛する人を守るために「うちの子を助けて！という地域とつながる方法」	100	オンライン（Zoom）	湯井上級コーチ

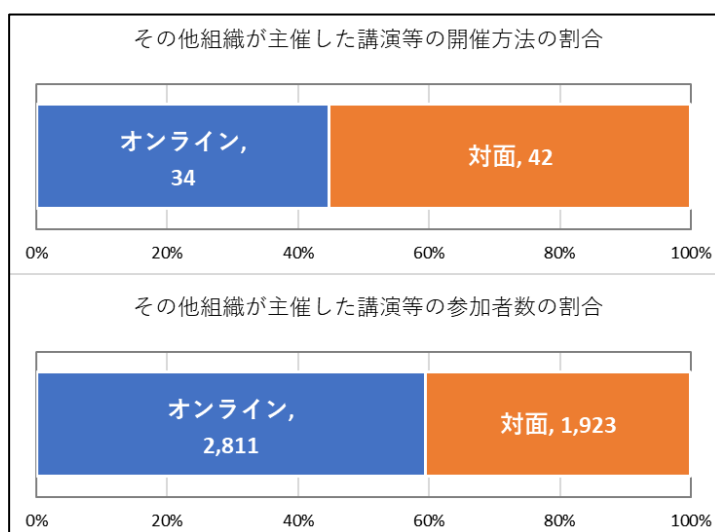
開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2021/3/13	三島支部ひのきしんスクール 「防災の基礎知識」 みんなで助かる！誰も取り残さないために 福祉×防災×コミュニティ	100	高槻市高槻現代劇場（対面）	湯井上級コーチ
2021/3/16	愛知県社会福祉協議会 災害時の高齢者・障がい者等の支援と福祉専門職の役割	40	オンライン	鍵屋代表理事
2021/3/17	震災対策技術展 高齢者・障がい者等の新たな避難支援対策 ～個別計画、福祉避難所、地区防災計画～	100	パシフィコ横浜	鍵屋代表理事
2021/3/17	何か起きても、高齢者サービスを止めないためには	50	オンライン（長崎県認知症グループホーム連絡協議会）	高橋副理事長
2021/3/23	事業継続推進機構 災害時の高齢者等への支援	120	オンライン	鍵屋代表理事
参加者数合計		4,734	（参考）2019年度：9,375	

その他組織が主催で行った講演等を、開催方法の割合・参加者数の割合で分析した。

開催方法としてはオンライン開催が4割を超えており、コロナ禍によるオンライン開催の増加が見て取れる。

また参加人数としては、オンラインで参加した数が約6割となった。ただしオンライン開催の場合、「開催組織がきちんと参加人数を確認していない（募集人数しかわからない場合がある）」

「参加者の出入りがあり、最終人数を把握しづらい」「オンラインに参加しているが、聞いていない」など、参加者数の確実性が分かりづらい部分がある。また録画を提供する形態での講演等でも、同様のことがあることから、これらの数字は参考程度としたい。



（１）自治体等での研修

一般財団法人 消防防災科学センターからの受託研修は、5 県での研修を実施した。新型コロナ感染症対策のためウェブ開催への切り替えを行った県があり、内容の一部変更が必要であったが、参加者の満足度等を考えると更なる改善が必要である。

昨年度、消防防災科学センターの研修を受けた静岡県からは、さらに県内 3 地区で福祉避難所研修を受託した。今後、このような展開が増加することを期待する。

新型コロナ感染症により、各自治体で実施していた集会型の普及啓発研修は回数・参加人数共に、大幅に減少した。この 1 年でリモート研修を行うためのウェブ会議システム（Zoom 等）が普及し、当会としてもウェブ会議用のマイク等器材の充実を行い対応してきたが、今後、各自がシステムに習熟・上達していくことで、更に新しい研修方法が求められることが想定される。このため、我々も新たな研修方法について検討・実施していくことが求められる。

（２）被災地での活動

今年度は、令和2年7月豪雨の被災自治体を訪問し、支援を行うと共に、現地の状況把握、職員等への聞き取りを行った。ただし、新型コロナ感染症対策のため障がい者や高齢者への直接の聞き取りや支援は難しかった。被災地外からのボランティア等を制限したことで、被災地では避難生活環境が一層厳しくなっており、福祉避難所や在宅避難者への支援をどのように行っていくかを事前検討しておく必要性を痛感した。今回の支援での必要性から、当会熊本支部の立ち上げが行われたが、今後の活動を考えると各地域での支部立上げが必要と考える。

（３）連携の拡充

全国の自治体、社会福祉協議会、社会福祉法人及びJVOD等ボランティア団体との連携により、研修先の拡大や調査研究の充実が図られた。

（４）認定コーチの合格7名及び次年度以降の研修委託事業の実施体制整備

2020年度は7名が福祉防災認定コーチに合格した。これまでの福祉防災認定コーチ研修では対面で前期後期 2 回の研修を実施していたが、新型コロナウイルス感染防止対策として前期研修を「動画の視聴＋自習」、後期研修を「Zoomを使った研修」として実施した。これにより、これまで参加が難しかった関東圏以外で活動するメンバーの参加が容易になった。

また、厚労省が福祉施設にBCP策定を義務付けることになり、当会版の福祉施設BCPひな型と厚生労働省が公開した「新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」「自然災害発生時の業務継続ガイドライン」のすり合わせを行い、福防協版福祉施設BCPひな型のバージョンアップを実施した。また、このBCPひな型を使った福祉防災認定コーチフォローアップ研修を行い、認定コーチ・上級コーチが学んだ。

（５）「みんな元気になる福祉避難所」事業の展開

企業版ふるさと納税を活用した事業として、株式会社百年防災社と共に展開を検討した。

（６）防災スタートBOXの発売

社会福祉法人埼玉福祉会の協力を得て、災害発生後の初動対応をスムーズに進める防災スタートBOXを発売開始した。

（７）新テキストの出版

2020年7月1日に「ひな型でつくる福祉防災計画～避難確保計画からBCP、福祉避難所～」が（公財）東京都福祉保健財団から出版された。

（８）福祉防災コミュニティの維持・発展

認定コーチへの積極的な声掛けを実施し、個人会員35名となった。

会員には、クラウドサービス「kintone（キントーン）」のアカウントを発行し、福祉防災関連記事の共有や講師派遣依頼情報の提供、旅費精算等のシステム化を行った。

2020年度の成果を受けた新たな課題

(1) 研修事業

当会が実施するBCP研修・福祉避難所研修については、上級コーチ2名、もしくは上級コーチ1名と認定コーチ1名をセットとして実施している。2020年度には7名の認定コーチが誕生し、認定コーチは30名となったが、上級コーチの増員はできていないため、今後もこの体制で研修を行うためには上級コーチの増員、もしくは認定コーチ2名でも研修を実施できるようフォローアップが必要である。

新型コロナウイルス対策のため、リモートでの講演や研修が一層求められるようになってきた。これらに対応するためには、コーチのリモート講演技能の習熟も必要であり、また組織としてウェブ会議に対応できる器材（Zoomアカウントやマイク等）の充実も必要である。

(2) 安全安心魅力施設の認定

安全安心魅力施設認定の基準作りが進まなかった。

安全安心魅力施設の認定を行うためには、福祉施設のBCPの作成・訓練・見直しによる実効性確保が不可欠であるが、BCP作成の普及研修に留まり、訓練については手付かずであった。

昨年度作成したBCP評価基準、及び（新）BCPひな型を活用し、今後、訓練、見直しの評価基準を作成し、安全安心魅力施設の認定に向け準備を進める必要がある。

(3) 福祉防災コミュニティの維持・発展

会員制度について、認定コーチへの積極的な声掛けを実施し、個人会員は35名となった。会員にはクラウドサービス「kintone（キントーン）」のアカウントを発行し、福祉防災関連記事の共有や講師派遣依頼情報の提供等を行える仕組みを作った。福祉防災関連記事の共有については、現在は事務局が気付いたものをアップする程度になっているため、今後は会員等による更新が進むことを期待している。

認定コーチのフォローアップとして「認定コーチ資格研修」「フォローアップ研修」をリモート開催としたことで、これまで参加が難しかった認定コーチの参加が可能となり、研鑽の場を提供することができた。今後は、kintoneを使った知見・最新の防災情報等の提供にも、期待したい。

(4) 新たに顕在化した課題

① 福祉避難所整備の必要性

ふるさと納税を活用した「みんな元気になる福祉避難所」構想を多くの市町村で検討いただいたが、実装までは進まなかった。私たちの構想の熟度の低さとともに、市町村における福祉避難所整備の優先順位が低いことが改めて明らかになった。

② 水防法・土砂災害防止法と厚労省版ガイドラインへの対応

2017年6月に改正水防法・土砂災害防止法が施行され、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務づけられた。

これにより、計画作成施設の範囲が広がった。また、国土交通省が作成したモデルプランでは、避難までで終わっており、その後の福祉サービスの継続や福祉避難所機能については触れられていない。そこで、厚労省版ガイドラインと一体となった（新）マニュアルの普及が重要となっている。

③災害時の福祉支援ネットワーク

被災地ヒアリングの結果、被災現場では、福祉関係者が多数ボランティアとして活動するが、情報共有や活動支援の拠点がなく、支援に重複、抜け漏れ落ちが常態化している。そこで、福祉支援関係者が連携して、被災地を支える仕組みの構築が求められる。

2021年度の取組み内容

（１）「みんな元気になる福祉避難所」事業を広く展開

企業版ふるさと納税をも活用して、自治体の金銭的負担なしで、特別支援学校を中心に、福祉避難所整備に必要なマニュアル、開設キット、トイレ、給電機等の普及を図る。現在、秋田県男鹿市で寄付が決まり、島根県浜田市で進行中である。また、複数企業と寄付の調整中である。

- ・福祉避難所マニュアル作成研修、及び開設BOX訓練を自治体単位で実施
- ・水のいないトイレ2台
- ・医療器具にも使える給電機1台
- ・コンテナその他必要な消耗品

以上のような福祉避難所資機材を自治体対象に普及し、全国的な福祉避難所ネットワークを築く。災害時には先遣隊を派遣し、福祉避難所立ち上げ、応援職員、支援物資の確保調整を行う。

（２）防災スタートBOX、福祉避難所開設BOXの発売

昨年度から、（社会福祉法人）埼玉福祉会の協力を得て、災害発生後の初動対応をスムーズに進める防災スタートBOX及び福祉避難所開設BOXを発売した。また、これを使った防災訓練を下記の（一財）消防防災科学センター研修、千葉県市原市、秋田県男鹿市等で行う。

（３）都道府県、市区町村、社会福祉協議会を対象に、福祉施設の事業継続計画

（BCP）研修、福祉避難所マニュアル作成研修を実施

本年度は、（一財）消防防災科学センター様からの委託事業により、7県で福祉避難所マニュアル作成研修が決まっている。厚労省が福祉施設に3年以内のBCP作成を義務付けたことにより、自治体や社会福祉協議会からBCP作成研修依頼や問合せが多くなっている。引き続き、研修担当事務職員1名が調整作業を行う。

（４）福祉防災の関係者を研修講師「福祉防災認定コーチ」として養成

教科書学習、研修参加、レポートの3段階で実施する。

- ・自宅でのテキスト学習
- ・福祉防災計画基礎研修およびチェック研修に参加
- ・理解度確認テスト及び3千字以上のレポートを提出

以上で、良好な評価を得たものを「福祉防災認定コーチ」として認定する。

上記、（１）（２）事業を通じて、受託が多くなった場合は、専門コンサルタントと連携して、研修講師の確保を図る。また、必要に応じて講師養成研修を実施する。

（５）福祉防災コミュニティの維持・発展

福祉防災認定コーチおよび研修修了者、関係者による会員制度を継続する。今後、認定コーチには、積極的に既存の研修等で研鑽を積めるように声掛けをし、上級コーチへの移行を進め、モラルアップを図る。研修等を継続して得た知見、最新の防災情報などを、クラウドサービス「kintone（キントーン）」を利用し、会員に提供する。

上記事業等により、個人会員50名、法人正会員10施設、法人賛助会員1法人を目標とする。

（６）被災した福祉関係者への人的応援、及び応援調整

福祉防災コミュニティのメンバーを中心に、被災した福祉関係者に必要な人的応援、および応援調整を行う。このため、JVOADと連携して災害時の福祉活動について調査を実施する。また、災害時に効果的な対応ができるように、調査研究、被災地派遣研修、ボランティア支援等活動を随時、実施する。

（７）協会が認定する「安全安心魅力施設」の基準作り

福祉防災計画を作成し、訓練、見直しなど良好なマネジメントができている福祉施設を「安全安心魅力施設」として認定するための基準作りを行う。

法人情報

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-21ちよだプラットフォームスクエア

電話 044-455-6230／Fax 044-455-6240

E-Mail fukushibousai@gmail.com

URL <http://fukushi-bousai.jp/>

一般社団法人
福祉防災
コミュニティ協会



事務局

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口3-25-10 日本ミクニヤ株式会社内

【添付資料】

- ・ 第5回決算報告書

決 算 報 告 書

(第 5 期)

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

東京都千代田区神田錦町三丁目21番地

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,665,250	4,193,070	1,472,180
前払費用	16,500	16,500	0
流動資産合計	5,681,750	4,209,570	1,472,180
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
保証金	30,000	30,000	0
その他の固定資産合計	30,000	30,000	0
固定資産合計	30,000	30,000	0
資産合計	5,711,750	4,239,570	1,472,180
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,875,826	1,774,064	101,762
預り金	7,531	7,672	△ 141
短期借入金	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	2,953,357	3,351,736	△ 398,379
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,953,357	3,351,736	△ 398,379
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	2,758,393	887,834	1,870,559
一般正味財産	2,758,393	887,834	1,870,559
正味財産合計	2,758,393	887,834	1,870,559
負債及び正味財産合計	5,711,750	4,239,570	1,472,180

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	120,000	60,000	60,000
賛助会員受取会費	120,000	60,000	60,000
事業収益	6,327,950	5,927,550	400,400
事業収益	6,327,950	5,927,550	400,400
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	378,440	8	378,432
受取利息	15	8	7
雑収益	378,425	0	378,425
経常収益計	6,826,390	5,987,558	838,832
(2) 経常費用			
事業費	4,028,089	2,796,008	1,232,081
旅費交通費	595,000	0	595,000
通信運搬費	49,310	174,228	△ 124,918
消耗品費	71,679	298,350	△ 226,671
賃借料	53,100	293,290	△ 240,190
支払手数料	550,000	0	550,000
委託費	2,709,000	2,030,140	678,860
管理費	857,742	2,038,311	△ 1,180,569
新聞図書費	31,680	0	31,680
交際費	0	17,440	△ 17,440
会議費	0	8,241	△ 8,241
旅費交通費	0	966,388	△ 966,388
通信運搬費	67,368	0	67,368
消耗品費	12,320	0	12,320
広告宣伝費	260,000	0	260,000
賃借料	219,638	0	219,638
諸会費	160,000	50,000	110,000
租税公課	14,035	4,000	10,035
支払手数料	92,701	992,242	△ 899,541
経常費用計	4,885,831	4,834,319	51,512
評価損益調整前経常増減額	1,940,559	1,153,239	787,320
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,940,559	1,153,239	787,320
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,940,559	1,153,239	787,320
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	1,870,559	1,083,239	787,320
一般正味財産期首残高	887,834	△ 195,405	1,083,239
一般正味財産期末残高	2,758,393	887,834	1,870,559
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	2,758,393	887,834	1,870,559

預貯金等の内訳書

金融機関名	支店名	種類	口座番号	期末現在高 円	摘要
		現金		606,332	
三井住友銀行	溝ノ口支店	普通預金	7644686	5,043,918	
ゆうちょ銀行	0二九店	当座預金	87053	10,000	
ゆうちょ銀行	0九八店	普通預金	3075269	5,000	
合	計			5,665,250	

(注) 1. 取引金融機関別に、かつ、預貯金の種類別に記入してください。
 なお、記載口数が100口を超える場合には、期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入しても差し支えありません。
 2. 預貯金等の名義人が代表者になっているなど法人名と異なる場合には、「摘要」欄に「名義人〇〇〇〇」のようにその名義人を記入してください。

仮払金(前渡金)の内訳書

科 目	相	手	先	期 末 現 在 高 円	摘 要
	名 称 (氏 名)	所 在 地 (住 所)	法人・代表 者との関係		
前払費用	ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑｻｰﾋﾞｽ(株)	東京都千代田区神田錦町3-21		16,500	施設利用料
保証金	ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑｻｰﾋﾞｽ(株)	東京都千代田区神田錦町3-21		30,000	保証料

- (注) 1. 「科目」欄には、仮払金、前渡金の別を記入してください。
 2. 相手先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入してください。
 3. 相手先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
 4. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
 ① 期末現在高の多額なものを100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
 なお、相手先が「役員、株主又は関係会社」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
 ② 期末現在高を自社の支店又は事業所等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
 なお、記載口数が100口を超えるか否かは、仮払金と前渡金との合計口数で判断してください。
 5. 「摘要」欄には、例えば「機械設備の購入手付金」、「仮払税金」等と記入してください。
 なお、上記4②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。

貸付金及び受取利息の内訳書

貸 付 先	期 末 現 在 高 円	期中の受取利息額 円	利 率 %	担 保 の 内 容 (物件の種類、数量、所在地等)
名称（氏名）	所 在 地 (住 所)	法人・代表 者との関係		
合 計				

- (注) 1. 貸付先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入し、その他は一括して記入してください。
 2. 貸付先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
 また、「期末現在高がないものであっても期中の受取利息額（未収利息を含みます。）が3万円以上」のものについては、各別に記入してください。
 3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
 ① 期末現在高の多額なものを100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
 なお、「貸付先が役員、株主又は関係会社のもの」又は「期末現在高がないものであっても期中の受取利息額（未収利息を含みます。）が3万円以上のもの」がある場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
 ② 期末現在高を自社の支店又は事業所等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄及び「期中の受取利息額」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
 4. 「利率」欄には、同一の貸付先に対する利率が2以上ある場合には、そのうち期末に近い時期における受取利息の利率を記入してください。

科 目	相	手	先	期 末 現 在 高 円	摘 要
	名 称 （ 氏 名 ）	所 在 地 （ 住 所 ）			
未払金	日本ミニヤ(株)	神奈川県川崎市高津区溝口3-25-10		1,584,000	委託業務料
未払金	中井 典絵	広島県安芸郡熊野町神田16-21		220,000	委託業務料
未払金	白岩 佳子	東京都江戸川区南葛西4-10-21-305		20,000	HP保守費
未払金	NTTファイナンス(株)	東京都港区港南1-2-70		5,066	通信費
未払金	木村 知世子	東京都豊島区東池袋サンシャイン60-55F		46,760	交通費
計				1,875,826	
合 計					

(注) 1. 「科目」欄には、買掛金、未払金、未払費用の別を記入してください。

2. 相手先別期末現在高が50万円以上のもので(50万円以上のもので5口未満のときは期末現在高の多額なものをから5口程度)については各別に記入し、その他は一括して記入してください。

3. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。

① 期末現在高の多額なものから100口についてののみ記入(この場合、100口目は50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入)

② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入(支店又は事業所等の名称を「名称(氏名)」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記入)

なお、記載口数が100口を超えるか否かは、買掛金、未払金及び未払費用との合計口数で判断してください。

4. なお払金については、その取引内容を「摘要」欄に記入してください。

5. なお、上記3②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。

6. 配当金又は法人税法第2条第15号に規定する役員に対する賞与(使用人兼務役員に対する使用人職務分の賞与を除きます)のうち未払となっているものがある場合には、次の欄にその内訳を記入してください。

未払配当金	支払確定年月日	期 末 現 在 高 円	未払役員賞与	支払確定年月日	期 末 現 在 高 円
	・ ・			・ ・	
	・ ・			・ ・	

仮受金(前受金・預り金)の内訳書

科 目	相 手 先			期 末 現 在 高 円	摘 要
	名 称 (氏 名)	所 在 地 (住 所)	法人・代表 者との関係		
預り金	神田税務署	東京都千代田区神田錦町3-3		7,531	謝金源泉所得税預り金
合 計				7,531	

- (注) 1. 「科目」欄には、仮受金、前受金、預り金の別を記入してください。
 2. 相手先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入してください。
 3. 相手先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
 4. 上記2による記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
 ① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
 なお、相手先が「役員、株主又は関係会社」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
 ② 期末現在高を自社の支店又は事業所等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
 なお、記載口数が100口を超えるか否かは、仮受金、前受金及び預り金との合計口数で判断してください。
 5. 「摘要」欄には、例えば「受注工事の前受金」、「源泉所得税預り金」等と記入してください。
 なお、上記4②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。
 6. 社内預金である場合には、「相手先」欄に「社内預金」と、「期末現在高」欄に期末現在高の合計額を、「摘要」欄には期中の支払利子額（未払利子を含みます。）をそれぞれ記入してください。

源泉所得税預り金の内訳

支払年月 年 月 分	所得の種類	期 末 現 在 高 円	支払年月 年 月 分	所得の種類	期 末 現 在 高 円

- (注) 「所得の種類」欄には、給与所得は「給」、退職所得は「退」、報酬・料金等は「報」、利子所得は「利」、配当所得は「配」、非居住者等所得は「非」と簡記してください。

借入金及び支払利子の内訳書

借 入 先			期 末 現 在 高 円	期中の支払利子額 円	利 率 %	担 保 の 内 容 (物件の種類、数量、所在地等)
名称（氏名）	所 在 地 （ 住 所 ）	法人・代表 者との関係				
鍵屋 一	東京都港区港南4-2-7-304	本人	1,000,000			
合 計			1,000,000			

- (注) 1. 借入先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入し、その他は一括して記入してください。
2. 借入先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。
また、「期末現在高がないものであっても期中の支払利子額（未払利子を含みます。）が3万円以上」のものについては、各別に記入してください。
3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。
- ① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入（この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入）
なお、「借入先が役員、株主又は関係会社のもの」又は「期末現在高がないものであっても期中の支払利子額（未払利子を含みます。）が3万円以上のもの」がある場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。
- ② 期末現在高を自社の支店又は事業所等で記入（支店又は事業所等の名称を「名称（氏名）」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄及び「期中の支払利子額」欄にその支店又は事業所等の合計金額（50万円未満のものも含む合計金額）を記入）
4. 「利率」欄には、同一の借入先に対する利率が2以上ある場合には、そのうち期末に近い時期における支払利子の利率を記入してください。
5. 外国法人又は非居住者から借り入れたものについては、「所在地（住所）」欄には、国外の所在地（住所）を記入してください。

雑益、雑損失等の内訳書

科 目	取 引 の 内 容	相 手 先		金 額 円
		名 称 (氏 名)	所 在 地 (住 所)	
雑 益 等	雑収益	販売紹介手数料	(株)ドリームデザイン 東京都大田区西蒲田7-61-13 HUN CH6F	268,425
	雑収益	販売実施料	(福) 埼玉福祉会 埼玉県新座市堀ノ内3-7-31	110,000
	合 計			378,425
雑 損 失 等				

- (注) 1. 雑収入、雑益（損失）、固定資産売却益（損）、税金の還付金、貸倒損失等について、科目別かつ相手先別の金額が10万円以上のものについて記入してください。
 なお、土地の売却益（損）を「⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。）の内訳書」に記入している場合には、記入しなくても差し支えありません。
2. 取引の内容が「税金の還付金」のものについては、期末現在高が10万円未満であっても全て各別に記入してください。
3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、金額の多額なものから100口についてのみ記入しても差し支えありません。
 なお、取引の内容が「税金の還付金」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。